

第34回

通常総会議案書

2023年7月4日(火)



パルシステム協力会



● も く じ

第1号議案	2022年度(第33期)活動報告承認の件	2
	2022年度協力会主要活動報告	4
第2号議案	2022年度(第33期)決算報告、 ならびに監査報告承認の件	9
	監査報告書	10
第3号議案	2023年度(第34期)活動方針(案)承認の件	13
第4号議案	2023年度(第34期)予算(案)承認の件	15
第5号議案	役員改選の件	16
	商品展示・組合員交流部会(商品展示会実行委員会)・活動報告	18
	物流部会・活動報告	23
	品質管理部会・活動報告	27
	環境部会・活動報告	35
	異業種交流部会・活動報告	39
	協力会・会員名簿	43
	■正会員	
	■準会員	
	■特別会員	
	2022年度パルシステム商品学習会 工場見学開催実績	48
	<資料>	
	パルシステム協力会会則	52
	パルシステム協力会公式サイト	57

第1号議案

2022年度(第33期)活動報告承認の件

I. はじめに

2020年から始まった新型コロナウイルス感染症は、2022年7月から9月にかけての第7波、秋以降の第8波と続きましたが、政府による外食・旅行業界への消費喚起策の実施なども重なり、生活協同組合を始め、食品宅配業者にとっては厳しい1年となりました。パルシステム協力会（以下、「協力会」）でも2022年4月以降、PCR検査や抗原検査による陰性確認を前提に、集合開催やオンラインを併用したハイブリッド形式での活動を再開しました。

また、ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻を受けた世界情勢の緊迫化は、昨年度から続くエネルギー価格高騰に拍車をかけ、食料など生活に関わる物資を高騰させており、景気後退が懸念されています。

併せて、世界的金融引き締めにおける為替市場の急激な円安など、インフレ拡大や景気後退に対する懸念が広がっており、課題解決に向けた模索の1年となりました。

以上のような社会情勢の中、協力会は、改めて協力会会員、パルシステム会員生協、パルシステム連合会関係部署、パルシステム・生産者・消費者協議会（以下、生消協）と連携、協力しながら、パルシステムグループの事業と運動に協力、支援を行い、ひいては協力会会員同士の事業活動にも寄与できる活動を行うと共に、ポスト（アフター）コロナの中で参集での活動を含めどう対応・適応して、協力、貢献できるかの引き続き検討をして参ります。

II. パルシステム連合会の2022年度事業状況

パルシステム連合会の2022年度の総事業高は1,925.7億円、前年比101.6%、予算比102.2%でした。

III. 2022年度活動方針・活動報告

2022年度は7月に通常総会、11月に秋の講演会をハイブリッドにて開催、賀詞交歓会は1月に集合での開催となりました。

2023年3月現在、正会員235社、準会員79社、特別会員10会員、計324会員が協力会に会員登録していただいております。

1. ポスト(アフター)コロナを視野に、パルシステムの新しい行動テーマ「もっといい明日へ 超えてく」の理念に共鳴し、サステナブルやエシカルへの取り組みについて、協力会・会員(取引先)、パルシステム連合会、会員生協(組員)、原料生産者とも連携しながら、貢献できる活動を行って参ります。

協力会総会、秋の講演会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、ハイブリッドで開催しました。また、賀詞交歓会は、3年ぶりに集合での開催を行ないました。協力会・各部会活動では、ハイブリッドによる「講演会」、「学習会」に加え、感染対策を行い集合での「研修会」、「商品展示会」では、会員生協と協力して8会員生協で集合開催をしました。

2. 協力会は生消協と「共創」を目指し活動に取り組みます。

2023年2月16日(木)、双方の幹事により、鳥取大学准教授大元鈴子氏を招き、「パルシステム連合会・生消協・協力会で行う共創の可能性～プラットフォームとしてのローカル認証」の講演を開催しました。会場では24人が参集し、集合ならではの交流を深めることができました。

※「生消協・協力会連携会議」の詳細内容については、6ページをご覧ください。

3. 環境変化に対応した情報提供に努めます。

2022年6月14日(火)、生消協と共に「もっといい明日へ 超えてく」説明会をオンラインで開催しました。パルシステム連合会広報本部加藤本部長を講師に、「ほんもの実感！」に代わる新運動テーマの概要についてお話しいただきました。安田協力会会長・大津生消協代表より、「今後に向けてパルシステムと共に取り組みを進める」と呼びかけがありました。



もっといい明日へ 超えてく説明会

4. 商品管理・品質保証の充実に取り組みます。

- (1) 連合会品質保証部と連携して、2022年7月、2023年4月と2回学習会を開催しました。
- (2) 品質管理強化月間ポスターを作成し、2022年7～8月に食品取扱メーカーを中心に配布し掲示を促し、注意喚起を行いました。
- (3) 下期品質管理部会研修会を平田産業(有)、(株)ふくれん 甘木工場、(株)エフピコ九州選別工場にて開催をしました。
- (4) 「HACCPリーダー養成講座」を2023年3月22日～24日にかけて、オンラインにて開催し、12社16名が参加しました。

※品質管理に対する取り組みの詳細は、27～34ページの「品質管理部会」活動報告をご覧ください。



オンラインによる
上期学習会の様子

5. 2022年度パルシステム商品展示会では会員生協と連携しながら交流の機会や交流する人数を増やします。

2022年度は、会員生協と連携をしながら8会員生協にて集合、1会員生協にてオンラインによる、「商品展示会」を開催しました。福島、新潟では試食を行わず、ブースではメーカーにクイズを出して頂き交流を図ることができました。参加人数は、5,463人・前年比152%(前年3,592人)でした。

※商品展示会の詳しい内容は、18～22ページの「商品展示・組員交流部会」活動報告と、2023年5月発行「2022年度商品展示会レポート」をご覧ください。



商品展示会の様子

6. 物流課題解決に向けて取り組んでいきます。

- (1) 『2024年問題』について、2023年3月に、学習会を開催しました。連合会内部は、『ホワイト物流』について理解を深めましたが、引き続き取引先へ呼びかけを行っていきます。
- (2) 歳末物流強化月間ポスターを作成し、配布会員(取引先)数317会員、会員生協センター64センター、配布枚数2,045配布・掲示を促し、注意喚起を行いました。

※物流課題の詳しい内容は、23～26ページの「物流部会」活動報告をご覧ください。



2024年問題学習会資料

7. 「SDGs(持続可能な社会)」の取り組みを強化し、積極的に推進します。

昨年度まで、新型コロナウイルス感染症のため開催ができなかった、パルシステム連合会環境政策推進室と連携した「海岸クリーンアップ活動」を2023年3月に静岡県清水区真崎海岸で開催しました。環境部会では、各社の「SDGs取り組み」の報告を行い、共有化を図りました。また、2023年4月に第一糖業、霧島ファクトリーガーデンにて研修会を開催しました。

※環境に関する取り組みの詳細内容は、35～38ページの「環境部会」活動報告をご覧ください。



ビーチクリーンの様子

8. 組員向け「パルシステム商品学習会」、「工場見学」、「センターまつり」の充実・円滑運営を図ります。

2022年度学習会開催224件(前年158件)、センターまつりは8回開催をしました。新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、リアルでの開催も増加しました。

※学習会・工場見学・センターまつりの取り組みの詳細内容は、48～51ページの「2022年度学習会工場見学」開催実績をご覧ください。



オンラインによる
パルシステム商品学習会の様子

2022年度協力会主要活動報告

1. 第33回通常総会 開催日／2022年7月5日(火)

第1部：パルシステム協力会「第33回通常総会」

場 所：ベルサール新宿セントラルパーク1FホールA
会員総数：321会員
(内訳 正会員：233 準会員：78 特別会員：10)
代議員数：233会員
出席者数：154会員（会場84、オンライン70）
委任状30会員 有効総出席者数184会員



(1) 竹内副会長より、第1号議案2021年度（第32期）活動報告承認の件と第2号議案2021年度決算報告ならびに監査報告承認の件を、続いて、酒井会計から2021年度（第32期）収支決算書の報告があり、監査報告書に基づいて宮監事から監査の結果会計処理について適正であった旨報告されました。

質疑応答後、第1号議案、第2号議案の一括採決がなされ、拍手をもって満場一致で承認されました。

(2) 安田会長より、第3号議案2022年度（第33期）活動方針（案）承認の件を、第4号議案2022年度予算（案）承認の件を酒井会計より提案されました。

質疑応答後、第3号議案、第4号議案の一括採決がなされ、拍手をもって満場一致で承認されました。

第2部：記念講演会

演 題：「ゲーム理論—その過去・現在・未来—」
講 演 者：東京都立大学経済経営学部教授 渡辺隆裕氏
渡辺隆裕氏より、「ゲーム理論—その過去・現在・未来—」と題してご講演頂きました。ご講演終了後、質疑応答の時間を設け参加者との交流を図りました。



第3部：交流会

場 所：ヒルトン東京「菊の間」
参加人数：約140人
今回の交流会は、新型コロナウイルス感染対策として、着席（着座）／コース料理での宴席としました。感染者数増加の報道を受け当日キャンセルが散見されました。



2. 秋の講演会・懇親会 開催日／2022年11月15日(火)

第1部：講演

演 題：『「環境・エネルギー政策」改定に向けて～中間まとめ案報告～』
講 演 者：パルシステム連合会 地域支援本部
環境政策推進室 室長 志賀祐子氏
場 所：リーガロイヤルホテル東京 ロイヤルホールI
参加人数：会場178人、オンライン110アカウント

講演会は講師にパルシステム連合会環境政策推進室 志賀室長をお迎えし、「環境・エネルギー政策改定に向けて～中間まとめ案報告～」と題してご講演いただきました。今回もリアル参加者へは事前のPCR検査又は抗原検査受検と当日の健康チェックシート提出をお願いしました。

秋の講演会も3年ぶりの開催となり、商品開発本部職員も参加し情報交換や交流が積極的に行われました。



第2部：懇親会

場 所：リーガロイヤルホテル東京
ロイヤルホールI・II
参加人数：182人

懇親会は新型コロナウイルス感染対策として「マスク会食」を呼び掛けると共に、アクリル板の設置、ビュッフェ取り分けの際のポリエチレン手袋の着用、こまめな手指消毒等を行いました。

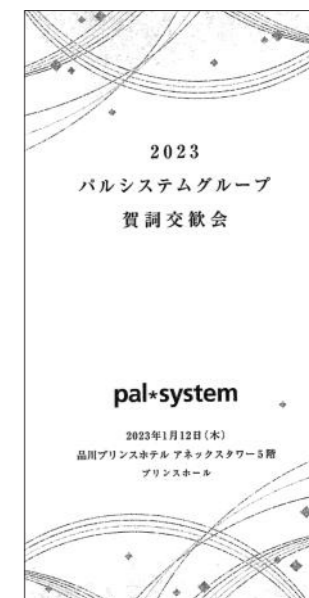


3. パルシステムグループ賀詞交歓会 開催日／2023年1月12日(木)

場 所：品川プリンスホテル アネックスタワー5階
参加会員数：185社
参加人数：345人
式 次 第：

開会（司会） 里地 哲子
パルシステム生活協同組合連合会 理事
（生活協同組合パルシステム神奈川 常任理事）
主催者代表挨拶 大信 政一
パルシステム生活協同組合連合会 理事長
パルシステム共済生活協同組合連合会 理事長

鏡開き



乾杯	大津 清次 パルシステム生産者・消費者協議会 代表幹事
懇親 閉会の辞	安田 昌樹 パルシステム協力会 会長
閉会	

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者には事前にPCR検査または抗原検査の陰性確認をお願いしました。また、当日会場では、食べ物はお出しせず、飲み物のみの提供となりましたが、3年ぶりに品川プリンスホテル アネックスタワーで開催をすることができました。

4. 「生消協・協力会連携会議」 日時／2023年2月16日(木)

演 題：「パルシステム連合会・生消協・協力会で行う共創の可能性
～プラットフォームとしてのローカル認証」
講 師：鳥取大学准教授 大元 鈴子氏
場 所：快・決いい会議室 HALL-B
参加人数：会場24人、オンライン80アカウント

大津生消協代表のあいさつの後、(株)井ゲタ竹内 竹内常務より大元先生を紹介していただき、講演に移りました。

講演は、大元先生の自己紹介から始まり、フードスタディやローカル認証の定義などの話から、事例紹介としてパルシステムの取り組み(兵庫県豊岡市、新潟県佐渡市、沖縄県恩納村)の解説、海外の事例としてサーモンセーフにおいて、都市と農地の流域をサケが産卵し、繁栄し続けることができるのに十分綺麗に保つことに貢献した仕組みが作られ、先住民と農家の信頼関係につながり、その認証は加工品にまで広がっていることの話がありました。また、恩納村における漁協、村、井ゲタ竹内、生協との関係もアメリカの事例と同じであり、双方向性を持った流通、「地産地消：生産地と消費地の距離を短くする(距離の短縮)」から「知産知消：生産地／生産者を知って消費し、消費者がどこにいて、どんな人たちかを知って生産する(関係性の短縮)」が必要であることを強調され、講演を終了しました。

連携会議終了後、会場をバトゥール東京メイン会場に移し懇親会を開催し、交流を深めました。



5. 会議

幹事会

年月日・参加者	内容・議題
2022年5月13日(金) 第33期・第1回幹事会 (ハイブリッド会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社13社出席。 連合会:辻常務理事ほか5名出席。	<ul style="list-style-type: none"> 第33回パルシステム協力会通常総会・講演会・懇親会について 2021年度会計監査・ふれあい保障制度監査他について 「もっといい明日へ 超えてく」(生消協・協力会会員向け)説明会開催について 2022年11月15日(火)「秋の講演会」講師候補について
2022年7月5日(火) 第33期・第2回幹事会 (ハイブリッド会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社20社出席。 連合会:渋谷専務他6名出席。	<ul style="list-style-type: none"> 第33回パルシステム協力会通常総会・講演会・懇親会について(役割分担他) パルシステム協力会ふれあい保障制度について 2022年11月15日(火)「秋の講演会」について
2022年9月16日(金) 第33期・第3回幹事会 (ハイブリッド会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社15社出席。 連合会:野津副本部長他4名出席。	<ul style="list-style-type: none"> 第33期パルシステム協力会の講演会について 生消協・協力会連携の進め方について
2022年11月15日(火) 第33期・第4回幹事会 (ハイブリッド会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社16社出席。 連合会:渋谷専務他6名出席。	<ul style="list-style-type: none"> 第33期パルシステム協力会秋の講演会・懇親会について 2023年1月パルシステムグループ賀詞交歓会開催について 第3回生消協・協力会連携会議開催について 2023年度第34回パルシステム協力会通常総会開催について パルシステム協力会ふれあい保障制度について
2023年1月12日(木) 第33期・第5回幹事会 (リモート会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三菱食品)ほか幹事会社18社出席。 連合会:渋谷専務他4名出席。	<ul style="list-style-type: none"> 2023パルシステムグループ賀詞交歓会について 2023年2月16日(木)生消協・協力会連携会議(セミナー／懇親会)について 2023年7月4日(火)第34回通常総会について 2023年11月7日(火)第34期秋の講演会について パルシステム協力会「結婚祝金」管理運営並びに給付に関する細則ならびにパルシステム協力会・ふれあい保障制度「見舞金」給付に関する細則改定について

年月日・参加者	内容・議題
2023年3月17日(金) 第33期・第6回幹事会 (ハイブリッド会議) 出席／安田会長(北海道漁連)、竹内副 会長(井ゲタ竹内)、江橋事務局長(三 菱食品)ほか幹事会社15社出席。 連合会:辻常務理事他5名。	<ul style="list-style-type: none"> 2023年7月4日(火)第34回通常総会／講演会について 生消協・協力会連携会議(セミナー／懇親会)報告及び今後の活動について 2023年度第34期幹事役員体制について (仮称)「組織検討委員会」設置について 2023年度幹事会及び各部会開催日程について 2024年度第35期通常総会開催会場について

6. 慶弔・その他

●慶弔 2022(令和4)年度

2022年 9月28日 生活協同組合パルシステム福島 専務理事 横田 敦実 様、
御尊父 横田 仁寶 様 ご逝去につき、弔電、生花を送る。

第2号議案

2022年度(第33期)決算報告、ならびに監査報告承認の件

2022年度 パルシステム協力会

自 2022年 5月1日～至 2023年 4月30日

(単位:円)

	勘定科目	当期予算額	当期実績額	予算増減額	予算対比	備考
収入	年会費収入	18,150,000	18,845,400	695,400	103.8%	正会員・準会員・特別会員※特例半額徴収
	その他会費収入	0	0	0	0.0%	参加費追加徴収 総会・講演会・賀詞交歓会
	カタログ発送費収入	2,100,000	1,738,260	△ 361,740	82.8%	※勘定科目追加
	合 計	20,250,000	20,583,660	333,660	101.6%	
支出	委託費	3,960,000	3,960,000	0	100.0%	事務局業務委託費
	通信費	4,239,000	2,947,256	△ 1,291,744	69.5%	
	(カタログ発送費)	2,100,000	2,362,117	262,117	112.5%	紙カタログ発送費・カタログデータ転送費※計上方法変更
	(郵便料金)	400	0	△ 400	0.0%	
	(LAN及び分担費)	138,600	237,600	99,000	171.4%	
	(その他通信費)	2,000,000	347,539	△ 1,652,461	17.4%	HPメンテナンス、更新作業サポート費用
	旅費交通費	0	0	0	0.0%	事務局交通費
	会議費	50,000	579,234	529,234	1158.5%	幹事会・連携会議
	調査研究費	400,000	353,705	△ 46,295	88.4%	コープ手帳購入他
	消耗品費	100,000	452,774	352,774	452.8%	
	渉外費	50,000	27,500	△ 22,500	55.0%	慶弔関係費・生花代
	事務所負担費	396,000	396,000	0	100.0%	半期ごとの支払い
	会計委託費	198,000	198,000	0	100.0%	半期ごとの支払い
	部会費	3,660,000	2,987,425	△ 868,405	81.6%	
	(組合員交流部会費)	60,000	0	△ 60,000	0.0%	商品展示会実行委員会運営
	(物流部会費)	900,000	1,138,487	238,487	126.5%	研修会、講演会(年2回)、歳末強化月間ポスター
	(品質管理部会費)	900,000	953,688	53,688	106.0%	研修会、学習会(年2回)、品質管理強化月間ポスター、HACCPリーダー養成講座補助
	(環境部会費)	900,000	283,780	△ 616,220	31.5%	研修会、海岸クリーンアップ活動
	(異業種交流部会費)	900,000	415,640	△ 484,360	46.2%	研修会、学習会、部会運営
	(諸口)	0	195,830	195,830	0.0%	品質管理部会研修会貸切バス代
	商品展示会費	6,230,000	4,750,402	△ 1,487,518	76.3%	
	(会員生協補助)	900,000	900,000	0	100.0%	
	(出展会員補助)	2,700,000	1,935,000	△ 765,000	71.7%	
	(展示会保険)	30,000	26,370	△ 3,630	87.9%	
	(まとめ冊子作成費)	1,000,000	1,109,502	109,502	111.0%	
	(備品作成費)	1,600,000	771,610	△ 828,390	48.2%	の(り)追加・協力会エプロンクリーニング費用
	(諸口)	0	7,920	7,920	0.0%	倉庫保管料
	総会費	9,220,000	9,422,568	202,568	102.2%	
	(会場費)	8,000,000	7,468,865	△ 531,135	93.4%	含む懇親会費
	(議案書作成費)	920,000	1,204,141	284,141	130.9%	紙及びPDF制作
	(その他運営費)	300,000	749,562	449,562	249.9%	講演料、交流会運営費、プログラム(次第)作成費他
	秋の講演会費	8,000,000	7,587,714	△ 412,286	94.8%	会場費、懇親会費等
賀詞交歓会費	3,500,000	2,636,000	△ 864,000	75.3%		
雑費	100,000	108,680	8,680	108.7%	支払手数料、協賛金等	
予備費	5,000,000	0	△ 5,000,000	0.0%		
合 計	45,103,000	36,407,258	△ 8,899,492	80.7%		
事業剰余金	△ 24,853,000	△ 15,823,598	9,233,152	63.7%		
雑収入	400	1,795	1,395	448.8%		
当期剰余金	△ 24,852,600	△ 15,821,803	9,234,547	63.7%		
前期繰越金	30,916,950	30,916,950	0	100.0%		
次期繰越金	6,064,350	15,095,147	9,030,797	248.9%		

ふれあい保障制度【結婚祝い金】収支報告書

2022年度 パルシステム協力会
自 2022年 5月1日 至 2023年 4月30日

(単位:円)

項目		当期予算額	当期実績額	予算増減額	予算対比	備考
収入	掛 金	42,454,800	42,710,400	255,600	100.6%	ふれあい保障制度 掛金 加入人数×3,600円
	(ふれあい保障制度)	40,332,060	40,574,880	242,820	100.6%	ふれあい保障制度 掛金のうち95%
	(結婚祝い金)	2,122,740	2,135,520	12,780	100.6%	ふれあい保障制度 掛金のうち5%
	合 計	42,454,800	42,710,400	255,600	100.6%	
支出	ふれあい保障制度保険料	40,814,280	40,574,880	△ 239,400	99.4%	
	結 婚 祝 い 金	1,760,000	1,470,000	△ 290,000	83.5%	
	振 込 手 数 料	30,910	29,876	△ 1,034	96.7%	振込手数料：29,656円、 残高証明書発行手数料：220円
	合 計	42,605,190	42,074,756	△ 530,434	98.8%	
雑 収 入	119	119	0	100.0%	預金利息	
当 期 剰 余 金	362,740	665,520	302,780	183.5%	結婚祝い金分	
前 期 繰 越 金	4,952,936	4,952,936	0	100.0%	結婚祝い金分	
次 期 繰 越 金	5,315,676	5,618,456	302,780	105.7%	結婚祝い金分	

2023年5月29日

パルシステム協力会
会長 安田 昌樹 殿

監事 松永 忠徳

監事 宮 敬一郎

監事 長谷川 雅人

監査報告書

私監事3名は会則第6条5項に基づき、2023年5月29日パルシステム生活協同組合連合会会議室にて、2022年5月1日～2023年4月30日までの年度会計収支決算について、下記の通り厳正に監査を実施しましたので、ここに報告いたします。

記

1. 監査日時 2023年5月29日(月) 15時00分～16時00分
2. 監査場所 パルシステム生活協同組合連合会東新宿事務所 4階 第4会議室
3. 監査立会人

パルシステム協力会 会計	井上 文喜
パルシステム協力会 会計	酒井 久徳
パルシステム協力会 監事	松永 忠徳
パルシステム協力会 監事	宮 敬一郎
パルシステム協力会 監事	長谷川 雅人
パルシステム生活協同組合連合会 経理部経理1課	稲垣 史明
パルシステム生活協同組合連合会 経理部経理1課	田中 浩行
パルシステム協力会 事務局	土肥 勝憲 多田杉夫
4. 監査の範囲 2022年度一般会計の収支決算について
5. 監査の方法 事務局より決算資料の説明を行い、その後監査を開始しました。その後決算書、期末残高証明書の照合確認を行いました。
6. 監査結果
 - 1) 一般会計は適正に処理されていました。
 - 2) 預金通帳・現金出納帳・入出金伝票・領収書の書類は整理されていました。
 - 3) 期末残高は、預金通帳などと合致していました。
7. 付記意見 パルシステム協力会の各活動が活発に行えるよう、引き続き適正な予算執行が行われることを望みます。

以上

ふれあい保障制度【結婚祝い金】収支予算書

2023年度 パルシステム協力会
自 2023年 5月1日 至 2024年 4月30日

(単位:円)

項目		2022年度実績額	2023年度予算額	増減額	備考
収入	掛 金	42,710,400	42,710,400	0	ふれあい保障制度 掛金 加入人数×3,600円
	(ふれあい保障制度)	40,574,880	40,574,880	0	ふれあい保障制度 掛金の95%
	(結婚祝い金)	2,135,520	2,135,520	0	ふれあい保障制度 掛金の5%
	合 計	42,710,400	42,710,400	0	
支出	ふれあい保障制度保険料	40,574,880	40,574,880	0	
	結 婚 祝 い 金	1,470,000	2,325,000	855,000	10,000円→15,000円、155件
	振 込 手 数 料	29,876	32,240	2,364	平均単価208円
合 計	42,074,756	42,932,120	857,364		
雑 収 入	119	119	0		
当 期 剰 余 金	665,520	△ 189,480	△ 855,000	結婚祝い金分	
前 期 繰 越 金	4,952,936	5,618,456	665,520	結婚祝い金分	
次 期 繰 越 金	5,618,456	5,428,976	△ 189,480	結婚祝い金分	


※ 2023年度予算は直近5年間の平均実績ベースで組んでおります。

※ 結婚祝い金繰越金の取り扱いについては適宜幹事会にて進捗報告を行い対応を決定する事といたします。

パルシステム協力会
会長 安田 昌樹 殿

2023年5月29日

監事 松永 忠徳
監事 宮 敬一郎
監事 長谷川 雅人



ふれあい保障制度監査報告書

私監事3名は会則第6条5項に基づき、2023年5月29日パルシステム生活協同組合連合会会議室にて、2022年5月1日～2023年4月30日までの年度ふれあい保障制度会計収支決算について、下記の通り厳正に監査を実施しましたので、ここに報告いたします。

記

1. 監査日時 2022年5月25日(火) 15時00分～16時00分
2. 監査場所 パルシステム生活協同組合連合会東新宿事務所 4階 第4会議室
3. 監査立会人
パルシステム協力会 会計 井上 文喜
パルシステム協力会 会計 酒井 久徳
パルシステム協力会 監事 松永 忠徳
パルシステム協力会 監事 宮 敬一郎
パルシステム協力会 監事 長谷川 雅人
株式会社パルふれあいサービス 霜田 洋一
パルシステム生活協同組合連合会 経理部経理1課 稲垣 史明
パルシステム生活協同組合連合会 経理部経理1課 田中 浩行
パルシステム協力会 事務局 土肥 勝憲 多田杉夫
4. 監査の範囲及び方法 共済口預金出納帳の提出を求め、監査を行いました。
5. 監査結果 ふれあい保障制度会計は適正に処理されていました。
6. 付記意見 結婚祝い金繰越金の推移については引き続き進捗を確認し幹事会にて適宜対策を講じる事を望みます。

以上

第3号議案

2023年度(第34期)活動方針(案)承認の件

《2023年度活動方針案》

- I. **ポスト(アフター)コロナ時代を迎え、パルシステムの行動テーマ「もっといい明日へ 超えてく」の理念に共鳴しサステナブルやエシカルへの取り組みについて、協力会会員(取引先)、パルシステム連合会、会員生協(組合員)、産地生産者とも連携しながら貢献できる活動を行って参ります。**
- II. **協力会は生消協と「共創」を目指し活動に取り組みます。**
 1. 生消協・協力会、双方会員の交流を図るため、地域を限定し(仮称)エリア会議の開催を目指します。
 2. 農・林・水産・疑似体験・応援体験企画(繁忙期の双方人的交流)、地域社会の問題(SDGs等)に取り組む等、双方を知る機会を事例研究します。^{*1}
- III. **環境変化に対応した情報提供に努めます。**
 1. 各部会主催の講演会・学習会の開催回数を増やし生消協・協力会・生協との情報共有・交流の機会を創出します。
 2. ゲノム編集技術応用食品について生消協と合同で学習会、セミナーを開催しパルシステム連合会の方針の理解を進めます。
 3. 協力会ホームページの更新頻度を上げ協力会や協力会会員の活動、パルシステム連合会、生消協、各業界の動きについての情報発信力を強化します。
- IV. **商品管理・品質保証の充実に取組みます。**
 1. パルシステム連合会品質保証部と連携し品質管理学習会を年2回開催し品質事故削減に寄与します。
 2. 品質管理強化月間ポスターを作成し協力会会員、パルシステム連合会、会員生協に活用いただきます。
 3. 「HACCPリーダー養成講座」を、年1回開催しリーダー育成を支援します。
- V. **パルシステム商品展示会では会員生協やパルシステム連合会関係各部署と連携し参加者や出展者の満足度を高め、交流を深めます。**
 1. 商品展示会、企画段階から出展者代表として協力会事務局が要望・助言を行います。
 2. 商品展示会でのゴミ排出総量削減、プラ容器削減に取り組めます。
 3. 産直原料産地を中心に、生産者の商品展示会への参加を促し交流の機会をつくります。

Ⅵ. 物流課題解決に向けて取り組んでいきます。

1. 物流「2024年問題」解決に向け引き続き商品の共同配送や人材確保、マネジメントについて課題を共有し研究します。
2. 「ホワイト物流推進運動」※2についてパルシステム連合会物流部と連携しセミナーを開催し荷主企業の理解、参加を進めます。
3. 歳末物流強化月間ポスターを制作し物流トラブル防止の啓蒙に努めます。

Ⅶ. 「SDGs(持続可能な社会)」の取り組みを強化し、積極的に推進します。

1. 環境部会を中心に森林産地での研修会や講演会を実施しSDGsへの理解を深めます。
2. パルシステム連合会環境政策推進室との連携を進め海岸クリーンアップ活動やパルシステム商品展示会におけるプラ削減やゴミ排出総量削減の課題に取り組めます。

Ⅷ. 組合員向け、「パルシステム商品学習会」、「工場見学」、「センターまつり」の充実・円滑運営を図ります。

1. 作り手と組合員がより交流が図れる集合開催を大切にしながら、オンラインを活用した学習会や工場見学も継続します。

※1：「事例研究」

例)「堆肥肥料原料」「廃棄物利用」

※2：「ホワイト物流」推進運動

深刻化するトラックドライバー不足に対応し経済活動や国民生活に必要な物流を安定的に確保し経済成長に繋げる事を目的とし、①トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化 ②女性や60代以上の運転者も働きやすい、より「ホワイト」な労働環境の実現に取り組む運動。

<https://white-logistics-movement.jp/>

パルシステム連合会では2023年3月、「ホワイト物流」推進運動、持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言を行いました。

<https://information.pal-system.co.jp/press/20230403-whitelogistics/>

第4号議案

2023年度(第34期)予算(案)承認の件

パルシステム協力会

自 2023年 5月1日～至 2024年 4月30日

(単位:円)

勘定科目	2022年度実績額	2023年度予算額	増減額	備考
収入				
年会費収入	18,845,400	36,000,000	17,154,600	正会員・準会員・特別会員
その他会費収入	0	2,600,000	2,600,000	参加費追加徴収 総会・講演会・賀詞交歓会
カタログ発送費収入	1,738,260	1,800,000	61,740	
合計	20,583,660	40,400,000	19,816,340	
支出				
委託費	3,960,000	3,960,000	0	事務局業務委託費
通信費	2,947,256	2,997,600	50,344	
(カタログ発送費)	2,362,117	2,360,000	△ 2,117	紙カタログ発送費・カタログデータ転送費 ※計上方法変更
(郵便料金)	0	0	0	
(LAN及び分担費)	237,600	237,600	0	
(その他通信費)	347,539	400,000	52,461	HPメンテナンス費用、更新作業サポート費用
旅費交通費	0	0	0	事務局交通費
会議費	579,234	700,000	120,766	幹事会、生消協連携会議
調査研究費	353,705	360,000	6,295	コープ手帳購入他
消耗品費	452,774	350,000	△ 102,774	
渉外費	27,500	100,000	72,500	慶弔関係費・生花代
事務所負担費	396,000	396,000	0	半期ごとの支払い
会計委託費	198,000	198,000	0	半期ごとの支払い
部会費	2,987,425	4,000,000	1,012,575	
(組合員交流部会費)	0	400,000	400,000	商品展示会実行委員会運営
(物流部会費)	1,138,487	900,000	△ 238,487	研修会、セミナー、講演会、歳末強化月間ポスター
(品質管理部会費)	1,149,518	900,000	△ 249,518	研修会、学習会(年2回)、品質管理強化月間ポスター、HACCPリーダー養成講座補助
(環境部会費)	283,780	900,000	616,220	研修会、講演会、海岸クリーンアップ活動
(異業種交流部会費)	415,640	900,000	484,360	研修会、学習会、部会運営
商品展示会費	4,750,402	6,438,000	1,687,598	
(会員生協補助)	900,000	900,000	0	
(出展会員補助)	1,935,000	4,000,000	2,065,000	
(展示会保険)	26,370	50,000	23,630	
(まとめ冊子作成費)	1,109,502	1,100,000	△ 9,502	
(備品作成費)	771,610	380,000	△ 391,610	のまり追加・協力会エプロンクリーニング費用
(諸口)	7,920	8,000	80	倉庫保管料
総会費	9,422,568	14,800,000	5,377,432	
(会場費)	7,468,865	11,000,000	3,531,135	含む懇親会費
(議案書作成費)	1,204,141	1,300,000	95,859	紙およびPDF制作
(その他運営費)	749,562	2,500,000	1,750,438	講演料、運営費、プログラム(次第)作成費他
秋の講演会費	7,587,714	8,000,000	412,286	会場費、懇親会費等
賀詞交歓会費	2,636,000	3,700,000	1,064,000	
雑費	108,680	140,000	31,320	支払手数料、協賛金等
予備費	0	5,000,000	5,000,000	
合計	36,407,258	51,139,600	14,732,342	
事業剰余金	△ 15,823,598	△ 10,739,600	5,083,998	
雑収入	1,795	400	△ 1,395	
当期剰余金	△ 15,821,803	△ 10,739,200	5,082,603	
前期繰越金	30,916,950	15,095,147	△ 15,821,803	
次期繰越金	15,095,147	4,355,947	△ 10,739,200	

第5号議案

役員改選の件

パルシステム協会の会則第3章第6条第3項の役員の改選にともない役員推薦を行います。

【幹事会社候補 20社】

(敬称略)

会員名	役職	氏名	ふりがな
北海道漁業協同組合連合会	代表理事 専務	安田 昌樹	やすだ まさき
株式会社井グタ竹内	常務取締役	竹内 周	たけうち あまね
株式会社水宗園本舗	代表取締役社長	八木 誠	やぎ まこと
三菱食品株式会社	執行役員 ライフネット本部 本部長	江橋 邦夫	えばしくにお
株式会社井上食品	代表取締役社長	井上 文喜	いのうえ ふみよし
株式会社ニッキーフーズ	執行役員 商品開発部長	岡本 昭人	おかもと あきひと
共生食品株式会社	代表取締役社長	三澤 孝治	みさわ たかはる
株式会社にんべんフーズ	代表取締役社長	真野 晃誠	まの あきまさ
株式会社流通サービス	専務取締役	大葉 秀樹	おおば ひでき
国分首都圏株式会社	代表取締役社長執行役員	南 博貴	みなみ ひろたか
平田産業有限会社	取締役副社長	平田 孝一	ひらた こういち
株式会社ニッスイ	広域営業本部長	古賀 敬	こが たかし
株式会社カジノヤ	代表取締役社長	梶 光則	かじ みつなり
株式会社ウィルミナ	代表取締役社長	幸村 潮菜	ゆきむらしおな
SBS ゼンツウ株式会社	取締役常務執行役員	村木 佳弘	むらき よしひろ
JPホームサプライ株式会社	代表取締役社長	松浦 健之	まつうら たけゆき
株式会社みそ半	代表取締役社長	松永 泰裕	まつなが やすひろ
株式会社タケイ	代表取締役社長	蒔田 雄二	まきた ゆうじ
株式会社協和	代表取締役社長	畑山 哲也	はたやま てつや
酒井産業株式会社	専務取締役	酒井 幹治	さかい かんじ

【監事会社候補 3社】

(敬称略)

会員名	役職	氏名	ふりがな
有限会社宮醤油店	代表取締役	宮 敬一郎	みや けいいちろう
大洋香料株式会社	代表取締役社長	長谷川 雅人	はせがわ まさと
マルハニチロ株式会社	常務執行役員 水産商事、食材流通、畜産 各ユニット長	安田 大助	やすだ だいすけ

パルシステム協会の会則第3章第10条第2項の相談役の配置は幹事会承認となっています。

幹事会で1社の再任を承認いたしましたので報告いたします。

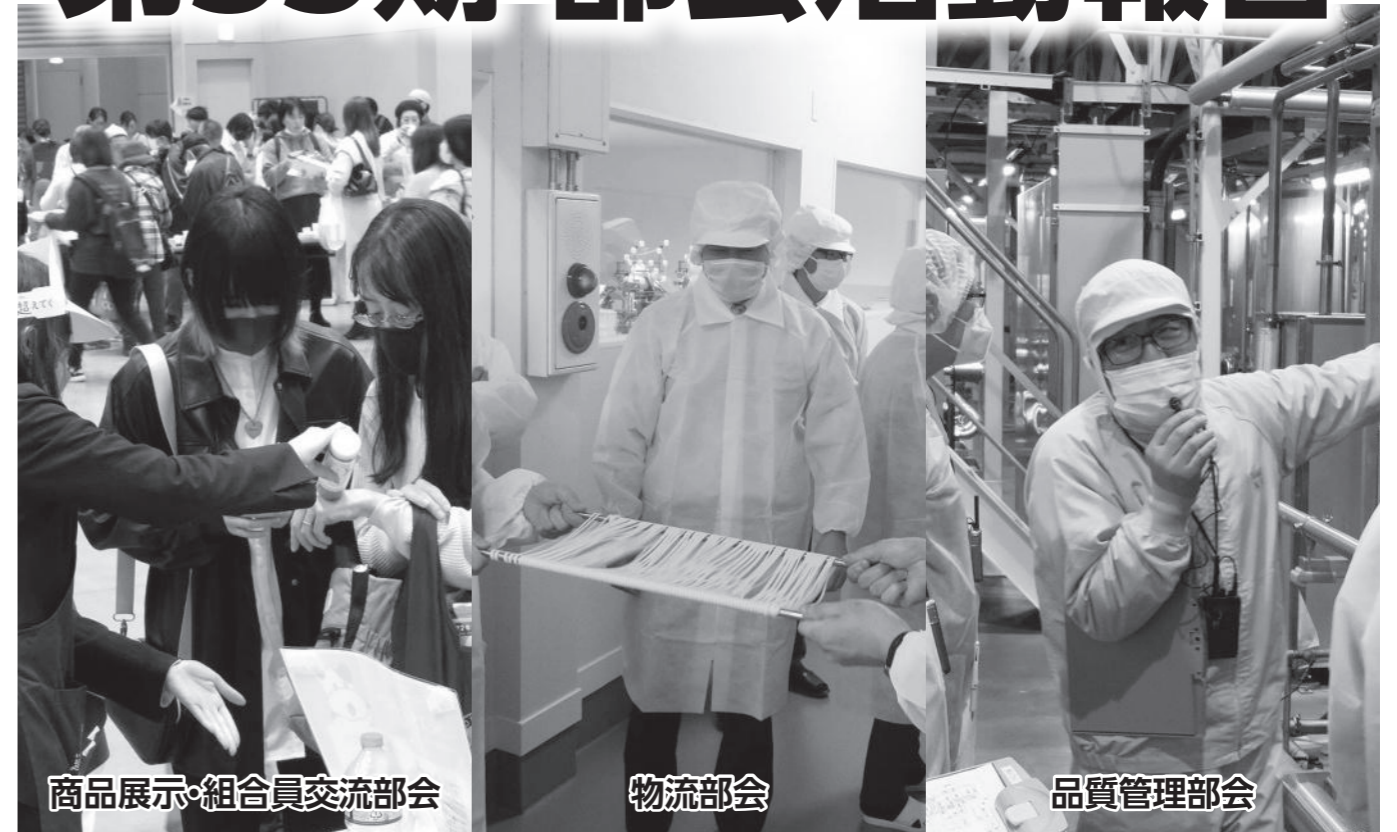
【相談役 1社】

(敬称略)

会員名	役職	氏名	ふりがな
株式会社協和	代表取締役会長	畑山 敏也	はたやま としや

※会長、副会長、会計、事務局長、各部会担当、は総会終了後の幹事会で選任し懇親会にて報告いたします。

第33期 部会活動報告



商品展示・組合員交流部会

物流部会

品質管理部会



環境部会

異業種交流部会

商品展示・組合員交流部会・活動報告

(商品展示会実行委員会)

メンバー

(敬称略)

部会員(部会長)	マルハニチロ(株)	安田 大助
部会員(副部会長)	(株)カジノヤ	梶 光則
部会員(書記)	マルハニチロ(株)	板垣 秀典
部会員	SBSゼンツウ(株)	岡本 佳徳/飯田 貴浩
	共生食品(株)	小野寺 和明
	ケンコーマヨネーズ(株)	望月 香織
	国分首都圏(株)	島田 元気
	JPホームサプライ(株)	末竹 直人
	協同組合 JASMEQ	小野 章男
	大洋香料(株)	東野 公彦
	(株)高山 東京支店	味崎 拓郎
	(株)東京コールドチェーン	新蔵 英仁
	(株)パルシステム電力	喜田 敦
	(株)パルブレッド	平田 耕一/大滝 公華
	ひかり味噌(株)	中澤 郁光
	ホクレン農業協同組合連合会	篠原 雅則
	三菱食品(株)	岩崎 洋介/金子 明稚
	(有)宮醤油店	宮 敬一郎
	(株)流通サービス	小川 大輔
(株)ロジカル	久保 裕介	
オブザーバー	パルシステム福島	阿部 恵子
	パルシステム茨城 栃木	重藤 勝道/吉村 真由子
	パルシステム群馬	小林 祐太/野沢 昌美
	パルシステム埼玉	柴山 直毅/齋藤 一步
	パルシステム神奈川ゆめコープ	池田 欣司/金川 桂
	パルシステム千葉	熊谷 浩二
	パルシステム静岡	城所 由香利/山本 美加 小塚 絵美
	パルシステム山梨	中込 将太/楠瀬 豪
	パルシステム新潟ときめき	眞保 清文/五十嵐 大輔
	パルシステム連合会	野津 秀男/川村 健一 岩瀬 健二/石川 元寿 酒井 真澄/玉田 直子 増田 基子/田端 伸行 北田 真/吉江 健一 竹井 篤史/大森 昇 志賀 祐子/高橋 拓海

1.活動日誌

年月日	内容
2022年5月12日(木) 14:00~16:00 2022年第1回商品展示・組合員交流部会開催 (オンラインにて開催) (取引先部会員14名、会員生協11名、連合会3名。計28名参加)	2022年度会員生協商品展示会開催計画共有 <ul style="list-style-type: none"> • 会員生協商品展示会開催計画を共有しました。 2022年度商品展示会出展エントリーシート案について <ul style="list-style-type: none"> • ハイブリッド開催を想定し、商品展示会出展エントリーシート案の説明、意見交換をしました。 リアル開催における「プラ削減」「ゴミ排出削減」について <ul style="list-style-type: none"> • 商品展示会での「プラ削減」「ゴミ排出削減」について部会員へのアンケートを共有、意見交換をしました。 2022年度センターまつり <ul style="list-style-type: none"> • 会員生協より問い合わせ、出展要望があり、センターまつり概要を共有しました。 2021年度(組合員向け)パルシステム商品学習会実績報告 <ul style="list-style-type: none"> • 2021年度会員生協毎の組合員向け商品学習会開催回数を共有しました。
2022年6月24日(金) 15:00~16:00 第33期第1回商品展示会実行委員会開催 (ハイブリッドにて開催) (取引先59名(内部会員14名)、会員生協10名、連合会3名。計72名参加)	2022年度パルシステム商品展示会開催計画について <ul style="list-style-type: none"> • 2022年度会員生協開催概要報告書をもとに、開催計画を共有しました。
2022年12月16日(金) 15:00~16:00 第33期第2回商品展示会実行委員会開催 (オンラインにて開催) (取引先17名(内部会員12名)、会員生協10名、連合会2名。計29名参加)	2022年度パルシステム商品展示会開催報告について <ul style="list-style-type: none"> • パルシステム商品展示会を終了した、会員生協から開催報告がありました。 2022年度パルシステム商品展示会出展報告について <ul style="list-style-type: none"> • 出展会員より、口頭にて出展報告がありました。 2022年度商品展示会年明け以降開催について <ul style="list-style-type: none"> • 年明け開催を予定している3会員生協の進捗の確認及び共有をしました。
2023年3月10日(金) 16:00~17:00 第33期第3回商品展示会実行委員会開催 (オンラインにて開催) (取引先43名(内部会員12名)、会員生協8名、連合会3名。計54名参加)	2022年度パルシステム商品展示会開催報告(再) <ul style="list-style-type: none"> • パルシステム商品展示会を終了した、会員生協から改めて開催報告がありました。 2023年度パルシステム商品展示会開催計画 <ul style="list-style-type: none"> • 現時点の2023年度パルシステム商品展示会開催計画を会員生協より報告、共有をしました。 次年度商品展示会開催に向けて <ul style="list-style-type: none"> • 出展会員、会員生協事務局より次年度に向けて、課題や提案を共有しました。

2.2022年度商品展示会開催概要

会員生協名	開催日・時間 開催方法	開催内容
パルシステム山梨 	①2022年 8月27日(土) 13:30~15:00 ②2023年 2月25日(土) 13:30~15:30 オンライン開催	①出展数2社 参加人数52名 ②出展数2社 参加人数37名 ・今年もオンライン開催ということで、逆に1.オンライン ならでは2.新しい運動「もっといい明日へ 超えてく」を 基調に、新たな発見・サステナブルをテーマに企画。 ・長野へも進出しているため、特に遠方の方にも参加して いただけるオンラインのメリットを前面に出した。 ・2回目は、その点からも「旅する」をテーマに実施。
パルシステム福島 	2022年 9月17日(土) 10:00~11:20 11:40~13:00 集合開催	出展数24社 参加人数528名 2部構成 ・3年ぶりの実開催で行う商品展示会。テーマは「サステ ナブルで超えてく」。コロナ禍で行うので、感染させぬよ う・しないように人数制限(申し込みのある人のみ入場可 能)2部制を設け、試食も無しで開催。 ・各メーカーに足を運んで商品のこだわりなどを知って いただきたく、メーカーにクイズを提出していただき、組 合員が必ず9ブースは回る仕組みづくりを行った。 ・今回の商品展示会はコロナ禍のため、組合員のための商 品展示会という意識のもと組合員に商品を多く知って いただく機会ととらえた。
パルシステム千葉 	2022年 10月9日(日) 10:00~11:30 12:00~13:30 集合開催	出展数14社 参加人数 約800名 2部構成 ・「もっといい明日へ 超えてく」を広くPRするため、『パ ルシステム千葉商品展示会 超えフェス2022』とし、『も っといい明日へ 超えてく~出会いに行こう、物語を見つ けよう~』をサブテーマに、チラシや会場内看板、掲示物 でも展開し組合員に新アクションを伝える場となった。 また、協会、独自メーカーとクリスマス、年末年始アイ テムを試食、販売、PRを行うことが出来た。 ・若者層PRとして、超えてくブースを大きく配置し、親子 で楽しめるガラポン、撮影スポット、ペーパーサンバイ ザーの配布。 ・30周年ブースでは過去のカatalog配置やパネル展示、動 画放映を行い、記念グッズの配付。
パルシステム群馬 	2022年 10月29日(土) 10:30~12:15 13:15~15:00 集合開催	出展数33社 参加人数1,004名 2部構成 ・試食や交流を通し、組合員にとって新たな発見を作る場 を目指し、商品への理解を深め、商品利用につなげた。 ・20周年企画や活動紹介を通して参加者は、パルシステム 群馬への理解を深めることができた。

会員生協名	開催日・時間 開催方法	開催内容
パルシステム埼玉 	2022年 11月12日(土) 10:00~11:30 12:00~13:30 14:00~15:30 集合開催	出展数17社 参加人数1,051名 3部構成 ・商品の試食、試飲を行うことで、組合員に商品を知って もらう機会とした。 ・組合員とメーカーが直接交流を図ることで商品への理解 を深め、信頼を高めた。 ・「もっといい明日へ 超えてく」の取り組みを広めた。 ・パルシステム埼玉統合10周年記念の感謝を参加組合員 に伝えた。
パルシステム新潟ときめき 	2022年 11月19日(土) 10:00~10:50 11:00~11:50 12:30~13:20 13:30~14:20 集合開催	出展数18社 参加人数227名(YouTube視聴60名) 4部構成 ・「~おいしい♡楽しい♥で作り手と組合員をつなぐ~ もっといい明日へ 超えフェス2022」というテーマで以 下の3項目を目的として開催した。 ・生産・製造者と消費者の交流の場 ・組合員が商品を知る場 ・生協の事業と活動を広める場
パルシステム神奈川 	2022年 11月26日(土) 10:00~12:00 13:00~15:00 集合開催	出展数35社 参加人数836名 2部構成 ・組合員及び組合員でない方に対し、パルシステム商品の こだわりや魅力を発信することでパルシステム、当組合 の取組みを広く伝えた。 ・パルシステムに関わるメーカーの商品試食、展示、販売(一 部、化粧品などの食品を除く常温品)、メーカー・産地と の交流。 ・「もっといい明日へ 超えてく」取り組みへの理解促進。 ・当組合とパルシステムの取組み紹介。
パルシステム茨城 栃木 	2023年 1月28日(土) 10:30~12:00 12:30~14:00 集合開催	出展数19社 参加人数385名 2部構成 ・「リアルだよ! 全員集合~! 見つけよう。私の推しパル♪」 というテーマで開催した。 ・参加者の方には商品の試食はもちろん、メーカー担当者 のお話や交流で新たな商品と出会うきっかけともなり、 3年ぶりの商品展示会は非常に実りあるものとなった。
パルシステム静岡 	2023年 2月5日(日) 10:30~12:00 12:30~14:00 集合開催	出展数18社 参加人数483名 2部構成 ・3年ぶりとなる実開催形式で、事業の重点エリアである 袋井センター管轄地域の組合員を対象に、事前申し込み による2部制で開催した。 ・感染対策を講じながら、メーカーと直接会って、話して、 新たな商品との接点を創出することができた。

3.まとめ《2022年度活動報告》

【活動報告】

2022年度、商品展示・組合員交流部会では計4回の部会を開催し、展示会はコロナ禍の収束傾向を受け多くの会員生協にてリアル開催を実施することができました。

福島・新潟の展示会では試食なしでの開催でしたが、各出展メーカーがクイズを実施するなど試食がなくても満足いただけるよう工夫を凝らしていましたし、試食を出した会場では感染対策に加えリユース食器を使うなど「環境のプルシステム」らしい展示会開催が出来ました。入場制限も設けながらでしたが、いずれの会場も多くの組合員に来場いただき大変盛況なものとなりました。何より組合員と直接交流が出来たことはコロナ禍のなか貴重な機会になりました。本来の形に近い展示会が出来たのではないかと考えております。

【今後の課題と展望】

コロナ禍の収束を受け、2023年度の組合員活動は展示会のみならず学習会など更に活発になっていくことが予想されます。展示会は、全ての会場でリアル開催を予定しております。この3年間、オンライン開催など新しい交流の形に取り組んできました。この経験を活かし来場できない組合員への対応なども検討していきたいと思っております。



物流部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会員(部会長)	(株)流通サービス	大葉 秀樹
部会員(副部会長)	国分首都圏(株)	南 博貴
	(株)協和	畑山 哲也
部会員(書記)	(株)流通サービス	花井 健太郎
部会員	SBSゼンツウ(株)	岡本 佳徳/飯田 貴浩
	(株)ウィルミナ	長田 浩二
	(株)カワタキコーポレーション	大槻 雅人
	協同水産流通(株)	金子 郁史/下青木 浩史
	(株)三協運輸サービス	井出 恵一
	スワ運輸(株)	小山 実
	全農パールライス(株)	坂部 康洋
	(株)高商	宇山 祐矢
	(株)トクスイコーポレーション	佐々木 孝夫
	(株)パルライン	桑原 修/渡辺 恭延
	マルハニチロ(株)	小島 直/板垣 秀典
(株)ロジカル	久保 裕介	
オブザーバー	プルシステム連合会	茂木 洋介/山岸 誠一郎
		福島 崇

1.活動日誌

年月日	内容
2022年6月21日(火) 第33期第1回物流部会 (ハイブリッド会議) 部会員14名 連合会5名出席	脱炭素社会に向けての第2回内部勉強会 <ul style="list-style-type: none"> 第2回目は(株)流通サービスより環境対応車両について報告がありました。 2022年度第33期物流部会活動計画 <ul style="list-style-type: none"> 研修会:北海道えりも・帯広の産直産地での1泊2日の研修の提案が事務局よりありました。 講演会:研修会を実施するため下期1回開催の提案がありました。 部会内勉強会:第2回物流部会では、ホワイト物流について北海道漁業協同組合連合会に依頼することとしました。 歳末強化月間(ポスター):テーマ、デザイン検討。制作スケジュール確認しました。 「ホワイト物流」への取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> 今期の進め方を協議しました。 物流部報告 <ul style="list-style-type: none"> 受注状況、生鮮・ドライ物流再編、SDGs関連、22年度方針説明がありました。
2022年8月23日(火) 第33期第2回物流部会 (ハイブリッド会議) 部会員13名 連合会6名出席	「ホワイト物流」推進運動勉強会 <ul style="list-style-type: none"> 講師を北海道漁業協同組合連合会にお願いしてあったが都合により欠席となりました。次回、再調整。 2022年度第33期歳末物流強化月間取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> 今年度の歳末物流強化月間に「歳末物流強化月間ポスター」の制作・配布・掲示を行う事としました。 制作スケジュール案を共有しました。 デザインの方向性について意見交換をしました。 2022年度第33期物流部会研修会 <ul style="list-style-type: none"> 北海道・十勝、10、11月で調整中の報告がありました。 2022年度第33回協力会通常総会報告 物流部報告 <ul style="list-style-type: none"> 第1四半期実績、つくばみらい冷凍SC進捗、カタログ袋変更について報告がありました。2024年問題を見据えた物流効率化共有をしました。
2022年10月25日(火) 第33期第3回物流部会 (ハイブリッド会議) 部会員15名 連合会6名	物流部報告 <ul style="list-style-type: none"> 上半期実績、つくばみらい冷凍SC進捗報告がありました。 2022年度第33期物流部会研修会について <ul style="list-style-type: none"> 年内実施は業務及び日程調整が難しく、3月に長崎県での実施再提案がありました。 2022年度第33期下期物流部会講演会 <ul style="list-style-type: none"> 開催時期は3月を予定の報告がありました。 内容は2部構成とし、第1部外部講師、第2部茂木部長よりパルシステムの22年度物流報告、次年度計画について講演予定の報告がありました。 事務局より、第1部講演内容について「2024年問題～罰則付き時間外労働上限規制適用に向けて、運送会社が取り組むこと～」の提案がありました。 2022年度第33期歳末物流強化月間の取り組み <ul style="list-style-type: none"> 今週ポスター発送、第33期秋の講演会にて部長より今期の歳末物流月間取り組みについて報告、会場にポスター掲示を予定している旨報告がありました。
2022年11月1日(火)～ 12月31日(土) 歳末物流強化月間	2022年度歳末物流強化月間ポスターについて <ul style="list-style-type: none"> 歳末物流強化月間ポスターを配付しました。 配布会員数312会員、会員生協64センター、2,045枚配布しました。

年月日	内容
2023年1月24日(火) 第33期第4回物流部会 (ハイブリッド会議) 部会員18名 連合会4名出席	2022年度第33期物流部会研修会について <ul style="list-style-type: none"> 現在、出欠確認中の旨、報告がありました。 研修会のスケジュールを共有しました。 2022年度第33期下期物流部会講演会について 【第1部】講師:(株)コヤマ経営 代表取締役 小山雅敬氏 内容:2024年問題について、罰則付き時間外労働上限規制適用に向けて運送業者・流通業の物流部門担当者が取り組まなければならないことを具体的に講義 【第2部】講師:パルシステム連合会 物流部部長 茂木洋介氏 内容:2022年度物流報告と次年度の計画について (パルシステム連合会東新宿本部4F・第6会議室よりオンライン配信) 「ホワイト物流」の取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> 今年度「ホワイト物流」推進運動への理解を深める事を活動方針の1つとしており、講演会以外にも既に取り組みを実施している企業の方にお越しいただき、部会内学習会開催の提案がありました。 雪印メグミルク(株)、三菱食品(株)に打診する旨報告がありました。 各会員に呼びかけを行い、自主宣言を提出頂くことを目標としました。 2023年度歳末物流強化月間ポスターについて <ul style="list-style-type: none"> デザインの方向性について協議を行い、引き続き協議する事としました。 物流部報告 <ul style="list-style-type: none"> 第3四半期までの状況、つくばみらい冷凍SC進捗、環境問題の取り組み、省人化・省力化取り組み、調達物流の改善、カタログ(紙原料の値上げ)の効率化等報告がありました。
2023年3月1日(水)～2日(木) 2022年度パルシステム協力会 物流部会研修会 参加人数15名	2022年度パルシステム協力会物流部会研修会 視察地:長崎県 視察先:①(株)菱塩、②(株)みそ半、③(有)和泉屋「長崎カステラランド」 視察内容:①座学・工場見学、②本社訪問・工場見学、③見学
2023年3月20日(月) 2022年度下期物流部会講演会 (ハイブリッド開催) 参加人数124名	2022年度下期物流部会講演会 【第1部】講師:(株)コヤマ経営 代表取締役 小山雅敬氏 内容:『2024年問題』～罰則付き時間外労働上限規制に向けて運送会社・物流部会が取り組むべきこと～ 【第2部】講師:パルシステム連合会 物流部部長 茂木洋介氏 内容:「パルシステムの物流について～22年度総括と23年度計画について～」
2023年3月28日(火) 第33期第5回物流部会 (ハイブリッド会議) 部会員17名 連合会5名出席	物流部会研修会／2022年度実施報告・2023年度計画について <ul style="list-style-type: none"> 3月1日(水)～3月2日(木)長崎県で開催した、物流部会研修会について、参加者より報告がありました。 2023年度物流部会研修会計画を協議しました。尚、上期は北海道の産地、下期は島根県高津川の視察を検討する旨報告がありました。 2023年度歳末物流強化月間ポスターについて <ul style="list-style-type: none"> 制作スケジュール共有しました。 「ホワイト物流」の取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> 下期物流部会講演会第2部にて、パルシステム連合会物流部部長より、パルシステム連合会としての「ホワイト物流」推進運動、持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言を3月28日(水)に提出した旨、報告がありました。上記自主行動宣言を受け、協力会物流部会として協力会会員に向け、推進運動の趣旨を理解した上で、「ホワイト物流」推進への参加を呼び掛ける事としました。 物流部報告 <ul style="list-style-type: none"> 22年度2月実績、物流部概況報告、23年度に向けての取り組み説明。セットセンター視察再開報告がありました。

2.まとめ《2022年度活動報告》

【活動報告】

2022年度、物流部会はパルシステム様の「もっといい明日へ 超えてく」のテーマのもと、部会員20名にて活動を進めてきました。コロナ禍3年目となり活動が制限されている中、リアル開催も含め、部会活動が予定通り開催できたことは、大きな前進であったと考えます。

部会活動としては5回の部会開催をリアルとリモートのハイブリッド形式で開催しました。

物流部会としては異業種の方や産地メーカーの方々からの学びを大事に進めてきたこともあり、3年ぶりに研修会も開催することができました。長崎県にあるPB商品のメーカー様の施設見学や工場見学を通して、商品のこだわりや歴史に触れ改めてパルシステム商品の良さを実感することができました。



研修会の様子

講演会についてはハイブリッドによる開催となり、第1部は「2024年問題をテーマに運送会社・物流会社が取り組むこと」を中心とした講演内容としました。物価やエネルギーの値上げが続き、消費者の購買が冷え込み厳しい事業環境においても、取り組まなければならない課題として共有することができました。第2部には本年度も「パルシステムの物流」というテーマで22年度総括と23年度計画を物流部茂木部長よりご講演いただきました。非常にわかりやすく、パルシステム様が進めていくことが理解できたと会員の皆様からご好評いただいております。

また、例年同様ではありますが、歳末物流強化月間として物流事故ゼロ・納品事故ゼロを掲げて、取り組みを行いました。ポスターについても一部変更し工夫しながら取り組むことができました。

【今後の課題と展望】

物流業界は、社会全体において人手不足が大きな問題となっている中、2024年問題への対応が差し迫り、トラック運転者不足が深刻な現状です。そのような厳しい事業環境において、パルシステムグループの2法人は政府が提唱する「ホワイト物流推進運動」の趣旨に賛同し、2023年3月28日「自主行動宣言」を推進運動事務局へ提出しました。物流部会として、2022年度はホワイト物流について、生協・荷主企業・物流事業者間で問題意識の共有は図れたものの、深く取り組むことは出来ませんでした。2023年度は、荷主企業と物流事業者間の連携をさらに深める活動を強化して参ります。

まだまだ先行きは不透明な状況ではありますが、物流だけではなく、産地研修や視察研修を通して、商品知識や商品のこだわりを学び、継続して組合員様に安心してご利用いただき、安心安全を表示の通り適切にお届けするため、本年度も活動を強化してまいります。

品質管理部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会員(部会長)	(株)ニッスイ	古賀 敬
部会員(副部会長)	(株)ニッキーフーズ	岡本 昭人
部会員(書記)	三菱食品(株)	竹田 省一
部会員	アートプランニング(株)	太田 祐次
	エム・シーシー食品(株)	前田 清彦
	(株)カジノヤ	海老原 淳
	(有)菊水堂	土谷 淳
	共生食品(株)	旭 鉄志
	(株)協和	梅田 靖彦
	協同組合 JASMEQ	小野 章男
	シンコー食品(株)	宮下 富幸
	全農パールライス(株)	西野入 英幸
	大洋香料(株)	長谷川 雅人
	(株)タケイ	石原 隆弘
	デイリーフーズ東京販売(株)	萬井 誠
	(株)テロワール・アンド・トラディション・ジャパン	二瓶 徹
	(株)東京コールドチェーン	末吉 太一
	(株)ニッキーフーズ	田中 紀年
	(株)ニチレイフーズ	岩本 亜希子
	(株)にんべんフーズ	浅原 真
	(株)浜食	田中 浩一
(株)パルブレッド	中嶋 悠	
(株)ファーストフーズ	芳賀 隆次	
水野食品(株)	水野 茂	
北海道漁業協同組合連合会	山野寺 健一／木谷 幸治	
(株)ユニマツキャラバン	瀬沼 淳一	
オブザーバー	(株)ニッスイ	朝長 洋治郎

1.活動日誌

年月日	内容
2022年5月27日(金) 第33期第1回品質管理部会 (ハイブリッド会議) 部会員19名 連合会4名出席	<p>2022年度品質管理強化月間ポスターについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作スケジュールを共有しました。 希望枚数の確認を行いました。 <p>2022年度(第33期)品質管理部会研修会案について</p> <ul style="list-style-type: none"> パルシステム連合会では、以前より「地域の伝統産業・食品を守る」取り組みのひとつとして、八丁味噌とGI問題を取り上げており、品質部会でも現地を視察し理解を深めることへの提案が事務局よりありました。 <p>2022年度上期品質管理学習会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 上期1回、下期1回計2回開催予定している旨報告がありました。 上期品質管理学習会の日程、開催方法、講演テーマ、講師について意見交換を行いました。 <p>SDGsの取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 各組織の取り組み状況の共有を行い、今後の進め方の協議を行ないました。 <p>品質保証部報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品事故申告件数推移、工場点検実施、品質保証向上に向けた「お取引先説明会」開催報告がありました。
2022年7月29日(金) 第33期第2回品質管理部会 (オンライン会議) 部会員17名 連合会3名出席	<p>2023年度品質管理強化月間ポスター制作について</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作スケジュールを共有しました。 ポスターデザイン方向性について協議を行いました。 <p>2022年度(第33期)品質管理部会研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状各社コロナ対応(出張可否等)について共有しました。 <p>2022年度上期品質管理学習会(案)について</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時:2022年10月4日(火)13:00~15:00 内容:(仮)「工場点検のポイント」「品質保証部からの報告」 講師:イカリ消毒(株)、パルシステム連合会品質保証部 実施方法:オンライン <p>品質保証部報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品事故申告件数推移、工場点検・産直原料管理強化、品質保証レポート2021年度発行報告及び、商品品質方針策定に当たっての考え方説明がありました。
2022年10月4日(火) 2022年度第33期上期品質管理学習会 (オンライン) アカウント数182アカウント	<p>2022年度第33期上期品質管理学習会</p> <p>【第1部】講師:イカリ消毒株式会社検査分析営業課 藤江雄大氏 内容:お取引先様がメーカー様の工場点検を実施する際のポイントや意義</p> <p>【第2部】講師:パルシステム連合会品質保証部部长 藤方正浩氏 内容:パルシステムの商品品質方針について</p>
2022年10月5日(水) 2022年度上期品質管理部会研修会 参加人数15名	<p>2022年度 上期品質管理部会研修会</p> <p>視察先:株式会社まるや八丁味噌 視察内容:八丁味噌の歴史及びGI問題講義、蔵見学</p>

年月日	内容
2022年11月18日(金) 第33期第3回品質管理部会 (ハイブリッド会議) 部会員17名 連合会4名出席	<p>2023年度品質管理強化月間ポスター制作について</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作スケジュール共有をしました。 役割分担、今後の進め方やポスターデザイン方向性について協議を行いました。 <p>2022年度(第33期)下期研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催地:九州 1泊2日2月開催での日程及び視察先について協議を行いました。 <p>2022年度下期品質管理学習会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習会実行委員として4名の部会員を指名させて頂き、実行委員会で検討をいただく事としました。 <p>2023年度「品質管理連続学習会」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 西田商品管理本部長より『パルシステム現場改善プロジェクト』について説明、現状の課題を共有しました。 パルシステム2030ビジョン、商品品質方針の説明を行い、今後の進め方を共有しました。 <p>品質保証部報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品事故申告件数推移、工場点検・産直原料管理強化報告がありました。 <p>今年度の「HACCP3日間講習」について</p> <ul style="list-style-type: none"> 2023年3月22日(水)~24日(金)開催予定の報告がありました。また、コロナ感染状況により開催方法を判断する旨報告がありました。
2023年2月9日(木)~10日(金) 2022年度下期品質管理部会研修会 参加人数13名	<p>2022年度下期品質管理部会研修会</p> <p>視察地:福岡県、佐賀県 視察先:①平田産業(有)、②(株)ふくれん 甘木工場、③(株)エフピコ 九州選別工場 視察内容:①座学・工場見学・オリーブ畑視察、②③座学・工場見学</p>
2023年2月17日(金) 第33期第4回品質管理部会 (ハイブリッド会議) 部会員21名 連合会2名出席	<p>2023年度品質管理強化月間ポスター制作について</p> <ul style="list-style-type: none"> 制作スケジュール共有をしました。 ポスターデザイン2案について意見交換をしました。 <p>2022年度下期品質管理学習会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催概要案を共有しました。 日時:2023年4月21日(金)15:00~16:00 講師:昭和大学病院 小児科 今井孝成教授 内容:アレルギー患者の症状の事例紹介他 <p>2022年度(第33期)下期研修会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 2月9日(木)~10日(金)に開催をした2022年度(第33期)下期研修会について参加者より感想を頂きました。 <p>品質保証部報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 商品事故申告件数推移、工場点検、パルシステム品質向上プロジェクトについて報告がありました。
2023年3月22日(水)~24日(金) オンラインHACCP・3日間講習開催。(主催JASMEQ) (後援:協力会品質管理部会) 12社・16名参加	<p>2022年 HACCPリーダー養成講座開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 3日間にわたり講演・オリエンテーション・演習・指導を実施しました。 講師:加藤光夫氏、中川弘氏、小谷正史氏 ※報告はp.31~34「実施報告」参照。
2023年4月21日(金) 2022年度第33期下期品質管理学習会(ハイブリッド開催) 会場20名 158アカウント	<p>第1部「食物アレルギーの基礎知識と事業所に求められる適切な対応」 講師:昭和大学病院 小児科 教授 今井孝成氏</p> <p>第2部「パルシステムにおけるアレルギー管理の現状」 講師:パルシステム連合会 品質保証部 主任 辻田真由氏</p>

2.まとめ《2022年度活動報告》

【活動報告】

2022年度はコロナ禍が3年目に入った中で年間4回の部会をオンライン・ハイブリッドで開催することができました。品質管理強化月間ポスターにおきましては、テーマ7S（整理・整頓・清掃・洗浄・習慣・清潔・殺菌）にし配布しました。この間、品質管理強化月間ポスターは、「異物混入防止」・「アレルギーの怖さを知っていますか」等のテーマでポスターを作成してきました。この活動は品質管理部会において、重要な活動と認識しております。

また、当部会の学習会チームにおいて2回の学習会を開催することができました。1回目の開催のテーマはイカリ消毒（株）様による「お取引先様が工場点検を実施する際のポイントや意義」をテーマに講演して頂きました。2回目は昭和大学病院の今井教授より「食物アレルギーの基礎知識と事業所の求められる適切な対応」のテーマで講演して頂き、2回の講演とも非常に判りやすく実践的な講演で非常に学習できました。

また、研修会においては約3年ぶりに実施することができました。上期の研修会では、愛知県の八丁味噌のメーカーの（株）まるや八丁味噌さんに訪問し、八丁味噌の歴史及びGIについてご講義頂き、その後、味噌蔵を見学しました。大きな樽で2年かけて作られる味噌は想像以上に迫力を感じました。

下期の研修会では、九州の平田産業さん・エフピコさん・ふくれんさんに訪問させて頂きました。平田産業さんでは圧縮一番搾り菜種油の製法と原料にこだわっていることを研修することができました。また、エフピコさんではリサイクルの大事さを、ふくれんさんには、工場見学の後、パルシステムの豆乳を試飲して感動させてもらいました。

2023年度も活発に活動していきたいと思っています。

【今後の課題と展望】

2023年度は、5月24日を初回に年6回の品質管理部会を予定しております。また、例年の強化月間ポスターは「異物混入を防ごう」をテーマに作成したいと思っております。また、年2回の学習会の実施、年2回の研修会も実施したいと思っております。組合員様に安心して製品を購入して頂くために活動して参ります。



研修会の様子

2022年度 品質管理強化月間ポスター
(食品衛生7S活動)

2023年3月22日・23日・24日

HACCPリーダー養成講座(3日間)実施報告

協同組合 JASMEQ
作成 顧問 監物今朝雄

パルシステム協力会品質管理部会の協賛・支援をいただき実施しました「HACCPリーダー養成講座(3日間)」に、12社16名の応募参加をいただきました。

昨年度に続き、コロナ禍の状況も考えて、Webセミナーとして計画実施させていただきました。

今期は、コロナの影響も収束にむかいつつあると言われ始めた時期でもありますが、まだまだ影響がおさまらないなか、調整いただき参加していただいた皆様には感謝しております。

同時に、「食品衛生法」改正による、いわゆるHACCPの制度化の施行が始まり、コーデックス委員会でのHACCP文章の2020版への改訂などによる、アレルギー管理、フードディフェンス対応、PP等の検証要求等、第三者認証(JFSCも含む)要求事項の追加要求もあり、講義講習内容の改訂も進められましたので、スケジュールについては、今後、再検討調整の必要性があると考えられる回ともなりました。

以下に、実施内容を報告させていただきます。

次年度(2024年)の開催については、修了アンケートのご意見を参考にして、実践に役立つ内容に努めてゆきたいと考えています。できれば「リアル」での開催復活も検討したいと考えています。

2023年3月「HACCPリーダー養成講座(3日間)」実施報告

1 実施日 2023年3月22日(水)・23日(木)・24日(金)

2 実施場所 Webセミナー

3 参加者内訳 (12社16名)

〈担当部門〉 品質管理部門5名、製造・工場部門7名、商品・営業4名

〈業種〉 商社関係4名、食肉・水産加工5名、他惣菜・菓子・麺製造7名

HACCPリーダー養成講座実施スケジュール

日	時間・内容	担当講師等
3月22日(水) 1日目	13:00~13:15 オリエンテーション	事務局
	13:15~16:25 講義 (加藤先生の動画。約1時間毎に10分の休憩) 一般的衛生管理9項目 後半で事例動画「弁当工場&魚介加工工場」[HACCPはこうすればできる]	加藤 光夫講師
	16:25~16:35 (休憩) 16:35~16:40 演習オリエンテーション 16:40~17:30 (事務局JASMEQオンライン待機時間) 演習:「理解内容確認レポート」と「衛生区画とゾーニング平面図」及び時間 がありましたら「フローダイアグラム」(製造工程図)を作成。 翌日10時30分までに事務局(JASMEQ)まで送付。	事務局
3月23日(木) 2日目	13:00~13:05 2日目オリエンテーション	事務局
	13:05~17:20 1日目の演習についての講評	加藤 光夫講師
	13:20~15:20 講義(動画等で約1時間毎に10分の休憩) HACCP12手順7原則について製品別事例紹介 後半約50分 ISO2200、FSSC22000について解説 CCPとOPRP、食品防衛・偽装、アレルギー管理、監査チェック等	加藤 光夫講師
	17:20~17:25 演習オリエンテーション 17:30 (事務局JASMEQオンライン待機時間) 演習:「製品説明書」「フローダイアグラム」と「危害分析管理総括表」作成 「製品説明書」「フローダイアグラム」(必須)と「総括表」のできたところ翌日 10時30分までに事務局(JASMEQ)に送付。	事務局
3月24日(金) 3日目	13:00~13:10 オリエンテーション	事務局
	13:10~15:00 「食品製造における微生物管理とは」	中川 弘講師
	15:00~15:10 休憩	
	15:10~15:35 前日の演習についての講評	加藤 光夫講師
	15:35~16:30 「食品工場の現場から レベルアップHACCP活動」	小谷 正史講師
	16:30~17:00 参加者自己紹介と感想交流会 演習課題「フローダイアグラム」と「危害分析管理総括表」の作成。時間が出来たら「衛生管理チェック表」に挑戦。 また、一日目に演習の「衛生区画とゾーニング平面図」を見直し。 週明け3月28日(火)中までに、JASMEQ事務局まで送付。	事務局 受講者

「HACCPリーダー養成講座(2023・3月)」修了アンケート集約

1 この度のセミナーに参加された経緯(いきさつ)はどのようでしたか?

会社から言われて参加(11)
自分から申し出て参加した(3)

2 Webでの講習になりましたが、「リアル」講習と比較していかがでしたでしょうか?

参加しやすかった(12)
参加に躊躇したところがあった(2)

それぞれのご意見や内容を具体的にお知らせ下さい。

スピーカーの調子で聞き取りにくいところがあった。(G参加)
画面と事前送付資料と合わせて見られたのでわかりやすかった。
オンラインだと移動がないこと、半日は他の業務もできるなど参加しやすいのではないかと。

3 講義、研修でよく理解できなかったことや、もう少し詳しく知りたいことはありますか? =事務局から対応させていただきます。

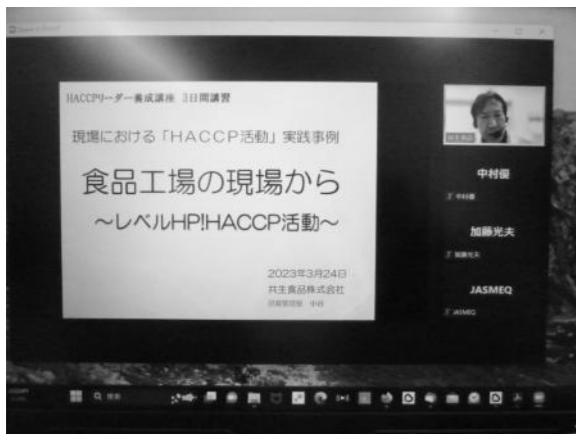
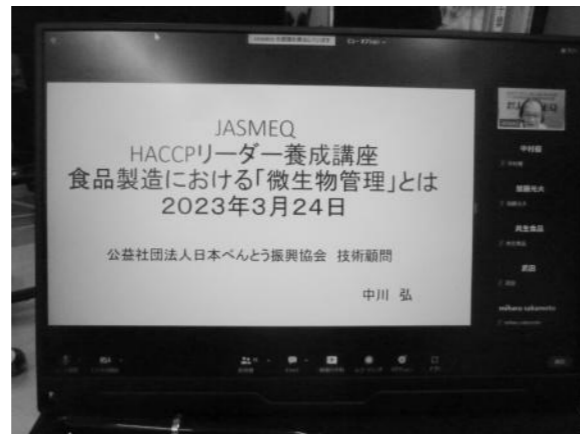
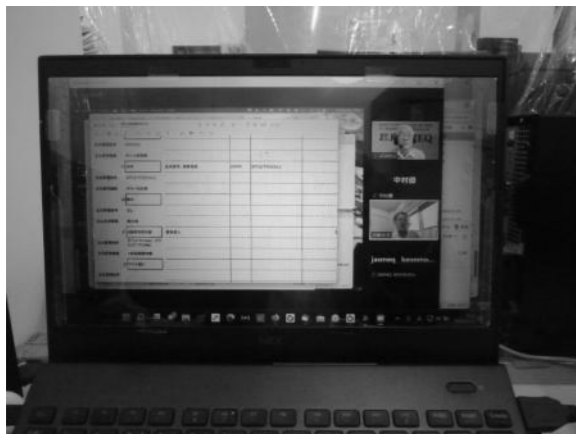
- ①全工程PRPで管理することは問題がありますか。
- ②よく理解できた(4)
- ③微生物についてもう少し突っ込んだ内容を知りたかった。(2)
- ④各先生が親しみやすい説明で分かりやすかった。
- ⑤ゾーニングと動線について詳しく学びたかった。
- ⑥改善措置手順チャート、改善へのアプローチについてもう少し知りたかった。
- ⑦海外工場での取り組みの解説もあればうれしかった。
- ⑧工程ごとの管理基準について。
- ⑨ハザード評価、ムービングウインドウ、意識改革、についてもう少し知りたい。

4 その他、研修の内容や進め方、研修の進行等について、改善すべきこと、良かったこと、気がつくことがありましたらお知らせ下さい。

- ①事例紹介が多くすぐにでも取り入れやすい改善があった。
- ②1時間毎の休憩もあり集中できた。
- ③今後の現場訪問に役立つ。
- ④工場事例紹介ビデオの一部見づらい点があった。
- ⑤体験談が身近に感じられてとても参考になった。
- ⑥対面の方がスムーズになると思った。
- ⑦送付資料がカラー印刷の方が分かりやすかった。(資料はコストの関係もあり白黒印刷)

- ⑧ HACCPについて大事なことは何か勉強になった。(2)
- ⑨ 加藤先生の動画はイメージしやすく、工場に効果的な衛生管理ができることが勉強になった。
- ⑩ 中川先生は大変分かりやすく勉強になった。
- ⑪ 小谷先生はユーモラスで、品質管理員としての違和感はないと救われ…少し涙ができました。
- ⑫ 講義を聴くだけでなく、参加者どうしでの話し合いもあると良いと思った。

以上



環境部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会員(部会長)	SBS ゼンツウ(株)	村木 佳弘
部会員(副部会長)	共生食品(株)	三澤 孝治
	JPホームサプライ(株)	松浦 健之
部会員(書記)	(有)清和商会	武井 康公
部会員	エスケー石鹼(株)	滝沢 優
	SBS ゼンツウ(株)	佐藤 英司
	エム・シーシー食品(株)	黒田 卓也/栗山 珠梨
	協同水産流通(株)	金子 郁史
	(株)協立	羽田 浩
	(株)十文字チキンカンパニー	古舘 裕樹
	全国漁業協同組合連合会	渡邊 淳一
	太陽油脂(株)	松山 浩之
	テーブルランド(株)	鈴木 洋一
	(株)パシフィック・トレード・ジャパン	田代 彰
	花嫁わた(株)	吉村 祐介/山口 美真
	日野出(株)	川崎 宏太郎
	北海道漁業協同組合連合会	山野寺 健一/木谷 幸治
	丸紅食料(株)	安藤 知子
	(株)みそ半	松永 泰裕
グリーンリーフ(株)	田頭 登紀	
雪印メグミルク(株)	池田 麗光	
リスパック(株)	山田 裕子	
(株)パルシステム電力	河野 将気	
オブザーバー	パルシステム連合会	野津 秀男/志賀 祐子

1.活動日誌

年月日	内容
2022年5月19日(木) 第33期第1回環境部会 (ハイブリッド会議) 部会員18名 連合会5名出席	SDGs各社の取り組み進捗と今後の進め方について <ul style="list-style-type: none"> • 部長よりSDGsマトリクス表の説明があり、その後各社実際に作成を行い、発表をしました。 2021年度(第32期)環境部会オンライン研修報告 <ul style="list-style-type: none"> • 参加者より感想を頂きました。 環境活動推進室報告 <ul style="list-style-type: none"> • 「パルシステム環境・気候変動アクション2022シンポジウム」開催報告、2021年度プラスチック排出総量実績、2021年度リユース・リサイクル回収率実績、「環境・気候変動アクション2022」の報告がありました。
2022年9月13日(火) 第33期第2回環境部会 (ハイブリッド会議) 部会員17名 連合会5名出席	SDGsマトリクス表各社発表 <ul style="list-style-type: none"> • 第1回に引き続き未発表の部会員より報告がありました。 ビーチクリーン活動について 予定開催日時:10月2日(日)07時20分集合 集合場所:JR静岡駅南口タクシー乗り場付近 環境部会内交流会について <ul style="list-style-type: none"> • ブレイクアウトルームを活用し、部会員同士で各社の近況報告、事業課題などについてディスカッションを行い、交流を深めました。 環境活動推進室報告 <ul style="list-style-type: none"> • 「パルシステム環境・気候変動アクション2022」における各種取り組み報告がありました。 パルシステム新潟ときめき祭り報告 <ul style="list-style-type: none"> • 日時:8月6日(土)10:00~14:30 • 場所:「道の駅あがの」 • 出展:千葉県漁業協同組合連合会、(株)ゆう屋、(株)パルブレッド、(株)協和
2022年11月22日(火) 第33期第3回環境部会 (ハイブリッド会議) 部会員17名 連合会3名出席	ビーチクリーン活動中止/延期について <ul style="list-style-type: none"> • 10月2日(日)開催予定でしたが直前での台風被害拡大の為延期の報告がありました。 2022年度環境部会研修会について <ul style="list-style-type: none"> • 研修会のこれまでの経緯について説明がありました。2023年4月に第一糖業(株)宮崎工場開催で打診中の報告がありました。 環境活動推進室報告 <ul style="list-style-type: none"> • 「パルシステム環境・気候変動アクション2022」の中で「夏休み気候変動アクションに参加しよう!」について報告がありました。
2023年1月17日(火) 第33期第4回環境部会 (ハイブリッド会議) 部会員21名 連合会3名出席	ビーチクリーン活動開催について 日時:3月12日(日)9:30~11:30 開催場所:清水区三保 真崎海岸 2022年度環境部会研修会について <ul style="list-style-type: none"> • 前回同様、現在第一糖業(株)宮崎工場打診中の旨報告がありました。 • 別途、青果関係の視察を増やす提案がありました。
2023年3月12日(日) ビーチクリーン活動 部会員10名 連合会2名出席	ビーチクリーン活動開催について <ul style="list-style-type: none"> • 日時:3月12日(日)9:30~11:30 • 開催場所:清水区三保 真崎海岸

年月日	内容
2023年3月14日(火) 第33期第5回環境部会 (ハイブリッド会議) 部会員22名 連合会3名出席	2022年度環境部会研修会について <ul style="list-style-type: none"> • 開催日程:4月27日(木) • 開催エリア:宮崎県 • 視察先:第一糖業(株)、霧島ファクトリーガーデン 2023年度環境部会研修会について <ul style="list-style-type: none"> • 上期は、グリーンリーフ視察予定報告がありました。 • 下期は、花見糖の原料産地、沖永良部島/南栄糖業(株)を2024年2月又は3月に予定している旨報告がありました。 2022年度SDGs各社取り組みまとめについて <ul style="list-style-type: none"> • 各部会員から提出頂き、まとめる事としました。 2023年環境部会開催日程について <ul style="list-style-type: none"> • コロナ以前の形式(年6回・60分/回)開催。ハイブリッドでの開催は継続する旨報告がありました。 ビーチクリーン活動報告 <ul style="list-style-type: none"> • 参加人数120~130名。参加者から感想を頂きました。 環境活動推進室報告 <ul style="list-style-type: none"> • 「環境・気候変動アクション2022」1~3月箇所の報告がありました。
2023年4月27日(木) 2022年度環境部会研修会 部会員18名 連合会4名出席	2022年度環境部会研修会 <ul style="list-style-type: none"> • 開催日程:4月27日 • 視察先: ①第一糖業(株) PB「花見糖」取組みの歴史を中心に、製糖に関する一般的な知識から市場の動向までご説明をいただいたのち工場の見学を行いました。 ②霧島ファクトリーガーデン 焼酎の製造工程の見学及び焼酎粕リサイクルプラントの施設見学を行いました。 • 視察内容:①座学・工場見学、②工場見学

ビーチクリーンの様子



2022年度環境部会下期研修会



2.まとめ《2022年度活動報告》

【活動報告】

昨年同様に新型コロナウイルス感染症対策の影響で大幅に部会の活動が制限されました。

会議につきましては昨年の完全リモート会議からハイブリッド形式に変更され徐々に通常に近い状態で開催される様になりました。取り組み内容につきましては引き続きSDGsをテーマに部会員各社の取り組み報告を通じて情報共有し、部会で取り組める内容について協議検討を進めて参りました。

また、環境活動推進室の志賀室長様に報告を頂き「パルシステム環境・気候変動アクション2022」について部会員一同で理解を深めました。

そして、部会の活動方針である海岸清掃につきましてもパルシステム静岡様の運動に参加させて頂き再開することが出来ました。今後も各会員生協様の運動に参画させて頂きたくお願い申し上げます。

通常年2回計画している研修会につきましては商品開発本部副本部長の野津様にご尽力を頂き、年度ぎりぎりで見糖の製造工場である第一糖業様と霧島ファクトリーガーデン様にて研修を受け入れて頂きました。受け入れて頂いた両社とご尽力を頂いたパルシステムの皆様に感謝申し上げます。

【今後の課題と展望】

新型コロナウイルス感染症も2類から5類に引き下げられることで一定の感染予防対策を取り、通常に近い活動が期待されます。会議につきましてもリアル・リモートのハイブリッド形式を継続することで参加しやすい環境にしたいと思います。

活動につきましては海岸清掃関連の取り組みを継続しながら部会全体で取り組めるSDGsの活動となるもう一つの柱の取り組みを検討して参ります。

さまざまな活動を通じて「パルシステム環境政策」を部会員一同が十分理解し業界を環境でリードするパルシステムグループへの一層の貢献をして参りたいと思います。

最後になりますが、部会の活動にあたりパルシステムグループ様をはじめ協力会各位にご尽力を頂きました事を、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

異業種交流部会・活動報告

メンバー

(敬称略)

部会員(部会長)	(株)タケイ	蒔田 雄二
部会員(副部会長)	平田産業(有)	平田 孝一
	(株)水宗園本舗	八木 誠
部会員	(株)安間産業	安間 大起
	SBSゼンツウ(株)	岡本 佳徳
	(株)ウィルミナ	丸山 澄華
	奥本製粉(株)	木村 務
	(株)風見	高橋 哲也
	(株)カジノヤ	梶 光則
	(有)カワグチ企画	清水 美香
	(株)北館製麺	北館 大輔
	共生食品(株)	八尾谷 彰
	(株)くらし企画	安島 賢
	(株)コジット	篠宮 兼吾
	酒井産業(株)	酒井 幹治
	(株)彩生舎	安東 依子
	サンスター(株)	太田 光
	JPホームサプライ(株)	末竹 直人
	協同組合JASMEQ	小野 章男
	(株)ジャパンビューティプロダクツ	伊藤 大輔
	(株)スクロール	森下 新吾/小笠原 将人/藤井 崇
	大洋香料(株)	東野 公彦
	千倉水産加工販売(株)	今 圭介
	(株)兆星	五味川 正裕
	(株)東京コールドチェーン	新蔵 英仁
	トーエー食品(株)	鈴木 雅之
(株)にんべんフーズ	真野 晃誠	
(株)パシフィック・トレード・ジャパン	水田 亮子	
(株)パルシステム電力	喜田 敦/松本 貴司	
(株)丸藤	田代 己津雄	
丸和油脂(株)	田村 将史	
(株)みそ半	森本 哲也	
(株)YUIDEA	渡辺 陽樹	
(株)流通サービス	花井 健太郎	
オブザーバー(書記)	(株)タケイ	渡辺 浩子
オブザーバー	平田産業(有)	中村 竜也
	(株)水宗園本舗	山口 裕市
	パルシステム連合会	川村 健一

1.活動日誌

年月日	内容
2022年6月16日(木) 第33期第1回異業種交流部会 (ハイブリッド会議) 部会員31名 連合会4名出席	2022年度(第33期)異業種交流部会活動について 2022年度研修会希望アンケートを基に下記の通り検討したい旨報告がありました。 ・研修会 生活用品関係、容器包材関連を秋ごろ開催検討。 ・講演会 パルシステムの新テーマ「もっといい明日へ 超えてく」に基づいた電気、エネルギー関係を検討。 ・部会内勉強会 再度要望をお願いしました。 ・部会内交流会 2年間交流が出来なかった分、少人数での交流希望。 ・海岸清掃:他各部会への参加も検討。
2022年8月25日(木) 第33期第2回異業種交流部会 (ハイブリッド会議) 部会員32名 連合会4名出席	2022年度(第33期)異業種交流部会 研修会について ・日程案:10月27日(木)～28日(金) ・開催地:信州 ・視察先:①酒井産業(株)、②(株)水宗園本舗 ・視察内容:①事業/取り組み紹介/木育について、漆の絵付け体験、②事業/取り組み紹介/製造工程見学/美味しいお茶の淹れ方教室 2022年度(第33期)異業種交流部会 講演会について ・食品メーカーの包材関係について、どのような取り組みをしているか等をテーマに検討している旨報告がありました。併せてメーカー及び研究開発テーマについて情報があれば情報提供依頼がありました。 異業種交流部会内交流会について ・ブレイクアウトルームで7班に分け、近況報告、解決したい課題等意見交換をしました。
2022年10月20日(木) 第33期第3回異業種交流部会 (ハイブリッド会議) 部会員30名 連合会3名出席	2022年度(第33期)異業種交流部会(上期)研修会について ・10月27日(木)～28日(金)開催、異業種交流部会上期研修会全体スケジュールを共有しました。 2022年度(第33期)異業種交流部会(下期)研修会について ・(株)カジノヤ、共生食品(株)へ年明け現地での研修を検討頂くようお願いします。 2022年度(第33期)異業種交流部会講演会について ・容器包材関係で実践的な改善の講演会について、講師も含め調整中の旨報告がありました。 今後の異業種交流会のあり方について ・部会長より:コロナ感染対策のためリモートでの参加が中心となったが、本来は会って交流をしていけたらと考えている。来年からはパルシステムの各部門からも参加を行い、パルシステムの状況や要望など聞けたら良いと考える。交流方法など希望があれば連絡を頂く事としました。
2022年10月27日(木)～ 28日(金) 2022年度上期異業種交流部会 研修会 部会員17名 連合会2名出席	2022年度上期異業種交流部会研修会 ・日程:10月27日(木)～28日(金) ・開催地:信州 ・視察先:①酒井産業(株)、②(株)水宗園本舗 ・視察内容:①事業/取り組み紹介/木育について、漆の絵付け体験、②事業/取り組み紹介/製造工程見学/美味しいお茶の淹れ方教室

年月日	内容
2022年12月22日(木) 第33期第4回異業種交流部会 (ハイブリッド会議) 部会員30名 連合会3名出席	2022年度(第33期)異業種交流部会(下期)研修会について ・2月2日(木)または、3日(金)のいずれかで、(株)カジノヤにて開催を検討している旨報告がありました。 2022年度(第33期)異業種交流部会講演会について ・開催予定時期:2023年4月頃 ・講師:東京大学大学院農学生命科学研究高分子材料学研究室教授 岩田忠久氏 ・開催方法:Zoomを予定 2022年度異業種交流部会(上期)研修会報告 ・日時:2022年10月27日(木)～28日(金) ・視察先:酒井産業(株)、(株)水宗園本舗 ・参加人数:1日目16名、2日目15名 ・参加者より報告がありました。
2023年2月2日(木) 2022年度下期異業種交流部会 研修会 参加人数13名	2022年度下期異業種交流部会研修会 ・日程:2023年2月2日(木) ・視察先:(株)カジノヤ ・視察内容:座学、工場見学、体験
2023年3月7日(火) 第33期第5回異業種交流部会 (ハイブリッド会議) 部会員33名 連合会2名出席	2023年度異業種交流部会研修会について ・熊谷セットセンター内お料理セット工場視察を検討している旨報告がありました。また、(株)にんべんフーズ工場視察受入検討を依頼しました。 2023年度異業種交流部会開催日程について ・次年度は6回開催、1回あたり60分を予定している旨報告がありました。 2022年度異業種交流部会下期研修会報告 ・開催日:2023年2月2日(木) ・視察先:(株)カジノヤ ・視察内容:座学、工場見学、体験 ・参加人数:13名 生消協・協力会合同セミナー報告 ・部会長、副部会長より報告がありました。



上期研修の様子



下期研修集合写真

2.まとめ《2022年度活動報告》

【活動報告】

2022年度上期について、コロナ情勢を鑑みながら、下期での部会員各社への研修会の模索をしてまいりました。

情勢も収束に向かい、信州長野において、酒井産業（株）（株）水宗園本舗 様への会社訪問、視察が実施出来ました。

会員での実行委員会を形成いただき、製作体験、有機緑茶の経緯と現状、飲み比べ等多岐にわたり経験、交流が深耕出来ました。

また2月には都内近隣での（株）カジノヤ様での工場視察、カップ納豆でのセルフデザイン体験をさせていただき、商品と合わせ地元の小学生社会見学の取り組みについての工夫など社会性を伴う取り組みについて貴重な体験、懇親が出来ました。

オプションで、明治大学平和教育登戸研究所記念館では、戦時中の知られざる歴史について深耕が出来、参加者各位において見識を広める事が出来充実した視察が出来ました。

パルシステム協力会事務局サイドから、各取り組みにおけるヒントやレクチャー準備について詳細にサポート頂き運営を滞りなく実施出来、感謝致します。

【今後の課題と展望】

コロナ情勢も落ち着きを見せ、今までの普段の行動に戻って来る事を前提に、会員各社での視察、訪問、交流を主軸に、講演会、以前取り組んだ会員生協様での同乗研修についての検討等、交流の深耕と幅を広げられる活動を進めてまいります。

正会員			
1	株式会社アイケイ	41	株式会社金庄
2	愛知園芸株式会社	42	有限会社カネモ
3	アイメディア株式会社	43	株式会社カラミノフーズ
4	青森県農村工業農業協同組合連合会	44	株式会社ガルト
5	秋本食品株式会社	45	有限会社カワグチ企画
6	有限会社アグリサポートシステム	46	株式会社カワタキコーポレーション
7	アサヒグループ食品株式会社	47	株式会社河村屋
8	麻布タカノ株式会社	48	株式会社神沢川酒造場
9	アスザックフーズ株式会社	49	有限会社菊水堂
10	アズマ工業株式会社	50	私市醸造株式会社
11	株式会社アトラスネットワーク	51	株式会社北尾化粧品部
12	株式会社安間産業	52	キッコーマン食品株式会社
13	株式会社井ゲタ竹内	53	株式会社鬼無里の社
14	有限会社和泉屋	54	株式会社木村食品工業
15	いなば食品株式会社	55	有限会社共食
16	株式会社井上食品	56	共生食品株式会社
17	茨城乳業株式会社	57	株式会社協同企画
18	茨木海苔株式会社	58	協同水産流通株式会社
19	株式会社ウィルミナ	59	協同乳業株式会社
20	有限会社内池平蔵商店	60	株式会社協立
21	エア・ウォーター炭酸株式会社	61	株式会社協和
22	株式会社エーアンドティー	62	株式会社ぎょれん北光
23	エスケー石鯨株式会社	63	窪田味噌醤油株式会社
24	SBSゼンツウ株式会社	64	クラウンフーズ株式会社
25	越後ふとん株式会社	65	株式会社くらし企画
26	エム・シーシー食品株式会社	66	株式会社グリーンピア
27	株式会社エムシーサービス	67	グリーンリーフ株式会社
28	株式会社エムワイ企画	68	ケンコーマヨネーズ株式会社
29	株式会社エリックス	69	興真乳業株式会社
30	大石産業株式会社	70	株式会社コーベヤ
31	株式会社おがた蒲鉾	71	コーミ株式会社
32	小川産業株式会社	72	国分首都圏株式会社
33	株式会社沖縄物産企業連合	73	国分フードフリエイト株式会社
34	奥本製粉株式会社	74	有限会社コクヨー
35	株式会社オフィス・パイ	75	株式会社コジット
36	株式会社オリエンタルフーズ	76	株式会社コム計画室
37	株式会社オルター・トレード・ジャパン	77	コモライフ株式会社
38	株式会社風見	78	株式会社西昆
39	株式会社カジノヤ	79	株式会社彩生舎
40	金砂郷食品株式会社	80	酒井産業株式会社

正会員	
81	さとの雪食品株式会社
82	株式会社三協運輸サービス
83	株式会社サンコー
84	サンスター株式会社
85	三陽物産株式会社
86	株式会社シーサット
87	株式会社JAしみずサービス
88	JA新潟かがやき
89	JPホームサプライ株式会社
90	協同組合JASMEQ
91	株式会社ジャパンビューティプロダクツ
92	株式会社十文字チキンカンパニー
93	正栄食品工業株式会社
94	昭和電工ガスプロダクツ株式会社
95	シンコー食品株式会社
96	株式会社新藤
97	株式会社水宗園本舗
98	株式会社スクロール
99	株式会社酢屋茂
100	スワ運輸株式会社
101	有限会社生活アートクラブ
102	株式会社セイトウ
103	西武酪農乳業株式会社
104	有限会社清和商会
105	全国漁業協同組合連合会
106	全国農協食品株式会社
107	全国海苔貝類漁業協同組合連合会
108	全農パールライス株式会社
109	株式会社全農ライフサポート山形
110	全酪フーズ株式会社
111	株式会社創健社
112	第一セントラル設備株式会社
113	株式会社泰山食品商行
114	太子食品工業株式会社
115	大成印刷株式会社
116	大山乳業農業協同組合
117	大都魚類株式会社
118	株式会社大治
119	タイヘイ株式会社
120	大洋香料株式会社
121	太陽油脂株式会社
122	株式会社高商
123	有限会社タカショウ
124	高橋ソース株式会社
125	株式会社高橋徳治商店
126	株式会社高山
127	株式会社匠集団そら
128	株式会社タケイ
129	田辺商事株式会社
130	千葉県漁業協同組合連合会
131	株式会社兆星
132	長龍酒造株式会社
133	株式会社つきじ深村
134	デイリーフーズ東京販売株式会社
135	テーブルランド株式会社
136	株式会社テロワール・アンド・トラディション・ジャパン
137	株式会社トウ・キューピー
138	東京高速印刷株式会社
139	株式会社東京コールドチェーン
140	トーエー食品株式会社
141	トータス株式会社
142	株式会社トクスイコーポレーション
143	株式会社戸田酒販
144	トップ産業株式会社
145	株式会社トライエックス
146	長崎県漁業協同組合連合会
147	長野県農協直販株式会社
148	株式会社中村商店
149	株式会社ナシオ
150	株式会社ナックス
151	成田食品株式会社
152	株式会社南部フーズ
153	21世紀コーヒー株式会社
154	株式会社ニチレイフレッシュ
155	株式会社ニッキーフーズ
156	株式会社ニッコー
157	株式会社ニッスイ
158	日東富士製粉株式会社
159	株式会社日本アクセス
160	日本ハム株式会社
161	日本オリゴ株式会社
162	日本食研株式会社
163	株式会社仁徳
164	株式会社にんべんフーズ
165	花嫁わた株式会社
166	株式会社浜食

正会員	
167	株式会社パルシステム・イースト
168	株式会社パルシステム電力
169	株式会社パルシステム・リレーションズ
170	榛名直販株式会社
171	株式会社パルブレッド
172	株式会社パル・ミート
173	株式会社パルライン
174	東銀座印刷出版株式会社
175	東日本産業株式会社
176	ひかり味噌株式会社
177	株式会社常陸屋本舗
178	株式会社ピックルスコーポレーション
179	株式会社平井
180	平田産業有限会社
181	株式会社ファーストフーズ
182	ファミリー・サービス・エイコー株式会社
183	株式会社ふくれん
184	富士山の銘水株式会社
185	株式会社藤文
186	株式会社ふじや食品
187	株式会社不動化学
188	プリマハム株式会社
189	株式会社ベニレイ
190	ポーソー油脂株式会社
191	株式会社ポールスタア
192	ホクレン農業協同組合連合会
193	北海道漁業協同組合連合会
194	北海道チクレン農業協同組合連合会
195	株式会社ホンダ水産
196	有限会社ますだ
197	松岡水産株式会社
198	松山油脂株式会社
199	株式会社丸井スズキ
200	丸久味噌株式会社
201	株式会社マルダイ長沼
202	マルハニチロ株式会社
203	株式会社丸藤
204	丸紅食料株式会社
205	丸和食品株式会社
206	丸和油脂株式会社
207	みえぎょれん販売株式会社
208	三重県漁業協同組合連合会
209	水野食品株式会社
210	美勢商事株式会社
211	株式会社みそ半
212	三菱商事ライフサイエンス株式会社
213	三菱食品株式会社
214	南伊豆水産株式会社
215	有限会社宮醤油店
216	明星食品株式会社
217	柳原出版株式会社
218	ヤマキ株式会社
219	株式会社ヤマキ
220	有限会社やまこみそ
221	山印醸造株式会社
222	有限会社山田養蜂場
223	山菱水産株式会社
224	株式会社山星屋
225	山屋食品株式会社
226	株式会社YUIDEA
227	雪印メグミルク株式会社
228	有限会社雪和商事
229	株式会社ユニマツキャラバン
230	有限会社ライフ・アート
231	有限会社ランカスター
232	株式会社リアス
233	株式会社流通サービス
234	株式会社ロジカル

準会員			
1	アートプランニング株式会社	44	テーブルマーク株式会社
2	有限会社アキヤマ食品	45	株式会社東映エージエンシー
3	株式会社浅野屋	46	東京海上日動火災保険株式会社
4	株式会社アジテック・ファインフーズ	47	戸田酒造株式会社
5	味の素冷凍食品株式会社	48	富栄海運有限会社唐津営業所シーボーン昭徳
6	株式会社阿波市場	49	株式会社ニチレイフーズ
7	株式会社イートアンドフーズ	50	日東ベスト株式会社
8	伊丹産業株式会社	51	株式会社パシフィック・トレード・ジャパン
9	伊藤製パン株式会社	52	ハチ食品株式会社
10	伊藤ハムミート販売東株式会社	53	株式会社パネックス
11	井村屋株式会社	54	株式会社浜甚
12	魚津漁業協同組合	55	濱田酒造株式会社
13	株式会社栄喜堂	56	株式会社HAL GREEN
14	小川珈琲株式会社	57	株式会社パルふれあいサービス
15	カゴメ株式会社	58	阪神低温株式会社
16	有限会社かね久海産	59	株式会社ピーコック
17	金子産業株式会社	60	日野出株式会社
18	兼松株式会社	61	株式会社フーズプランナー
19	株式会社鎌倉ハムクラウン商会	62	株式会社フーディーネットジャパン
20	株式会社川喜	63	福島エーアンドエープロイラー株式会社
21	関東日本フード株式会社	64	フジパン株式会社
22	株式会社北館製麺	65	プライフーズ株式会社
23	木徳神糧株式会社	66	マスコー製紙株式会社
24	株式会社木村屋總本店	67	株式会社マルハニチロリテールサービス
25	クレードル食品株式会社	68	三井住友海上火災保険株式会社
26	コアレックス信栄株式会社	69	明神水産株式会社
27	光海株式会社	70	矢崎紙工株式会社
28	ゴールドパック株式会社	71	有限会社山田商店
29	株式会社小善本店	72	大和産業株式会社
30	株式会社コモ	73	株式会社山安
31	佐井村漁業協同組合	74	株式会社ゆう屋
32	サトウ食品株式会社	75	横山製粉株式会社
33	JA全農ミートフーズ株式会社	76	株式会社吉野家
34	JAおとふけ	77	リスパック株式会社
35	四国日清食品株式会社		
36	信越明星株式会社		
37	信州ハム株式会社		
38	全農チキンフーズ株式会社		
39	第一糖業株式会社		
40	たいまつ食品株式会社		
41	株式会社タカキベーカリー		
42	有限会社高千穂漢方研究所		
43	千倉水産加工販売株式会社		

特別会員			
1	パルシステム茨城 栃木	6	パルシステム千葉
2	パルシステム神奈川	7	パルシステム東京
3	パルシステム群馬	8	パルシステム新潟ときめき
4	パルシステム埼玉	9	パルシステム福島
5	パルシステム静岡	10	パルシステム山梨

2022年度パルシステム商品学習会 工場見学開催実績

会員名	種別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城	栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
アズマ工業株式会社	オンライン学習会			1	1								2	4
	リアル学習会	2											2	
株式会社井ゲタ竹内	オンライン学習会		1										1	2
	リアル学習会	1											1	
伊藤忠食糧株式会社 (第一糖業株式会社)	オンライン学習会	1				1							2	2
	リアル学習会												0	
いなば食品株式会社	オンライン学習会		1										1	1
	リアル学習会												0	
茨城乳業株式会社	オンライン学習会	1						1					2	2
	リアル学習会												0	
株式会社ウィルミナ	オンライン学習会			3									3	8
	リアル学習会	1		3						1			5	
株式会社エムシーサービス	オンライン学習会										1		1	1
	リアル学習会												0	
エム・シーシー食品株式会社	オンライン学習会	1											1	1
	リアル学習会												0	
奥本製粉株式会社	オンライン学習会	1											1	1
	リアル学習会												0	
株式会社オルター・ トレード・ジャパン	オンライン学習会	1				1	1						3	4
	リアル学習会	1											1	
株式会社風見	オンライン学習会	2											2	3
	リアル学習会	1											1	
株式会社カジノヤ	オンライン学習会												0	5
	リアル学習会	5											5	
株式会社金庄	オンライン学習会												0	2
	リアル学習会	1			1								2	
有限会社カワグチ企画	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会	1											1	
株式会社河村屋 (有限会社カナモト食品)	オンライン学習会			1		1							2	2
	リアル学習会												0	
有限会社菊水堂	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会				1								1	
私市醸造株式会社	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会									1			1	
共生食品株式会社	オンライン学習会	2	1	1									4	5
	リアル学習会									1			1	
株式会社協和	オンライン学習会												0	2
	リアル学習会				2								2	
株式会社ぎょれん北光	オンライン学習会	1		1									2	2
	リアル学習会												0	

会員名	種別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城	栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
窪田味噌醤油株式会社	オンライン学習会												0	2
	リアル学習会	1									1		2	
国分首都圏株式会社 (伊藤食品株式会社)	オンライン学習会		1										1	1
	リアル学習会												0	
国分首都圏株式会社 (小川珈琲株式会社)	オンライン学習会	2											2	7
	リアル学習会	4				1							5	
国分首都圏株式会社 (カゴメ株式会社)	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会	1											1	
株式会社コモ	オンライン学習会		1	1									2	2
	リアル学習会												0	
株式会社彩生舎	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会	1											1	
サンスター株式会社	オンライン学習会			1									1	3
	リアル学習会	1			1								2	
J P ホームサプライ株式会社	オンライン学習会			2									2	3
	リアル学習会	1											1	
協同組合 JASMEQ	オンライン学習会			1									1	1
	リアル学習会												0	
株式会社ジャパンビューティ プロダクツ	オンライン学習会	1		1		1							3	12
	リアル学習会	8			1								9	
農事組合法人庄内協同ファーム	オンライン学習会	1											1	1
	リアル学習会												0	
株式会社水宗園本舗	オンライン学習会	2											2	2
	リアル学習会												0	
株式会社スクロール	オンライン学習会			1							1		2	7
	リアル学習会	3	1		1								5	
全国漁業協同組合連合会	オンライン学習会	1				1							2	3
	リアル学習会										1		1	
第一糖業株式会社	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会									1			1	
大洋香料株式会社	オンライン学習会	1		1									2	3
	リアル学習会	1											1	
太陽油脂株式会社	オンライン学習会	1				1				1			3	4
	リアル学習会	1											1	
有限会社タカショウ	オンライン学習会										1		1	1
	リアル学習会												0	
株式会社高山	オンライン学習会	1											1	1
	リアル学習会												0	
株式会社匠集団そら	オンライン学習会	1											1	1
	リアル学習会												0	
株式会社タケイ	オンライン学習会	1											1	1
	リアル学習会												0	
デイリーフーズ東京販売株式会社	オンライン学習会	1										1	2	4
	リアル学習会	1		1									2	

会員名	種別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城	栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
株式会社テロワール・アンド・ トラディション・ジャパン	オンライン学習会	1		1									2	2
	リアル学習会												0	
株式会社東京コールドチェーン	オンライン学習会	2	1			1	1			1			6	7
	リアル学習会				1								1	
トーエー食品株式会社	オンライン学習会	1		1									2	2
	リアル学習会												0	
株式会社中村商店	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会	1											1	
21世紀コーヒー株式会社	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会				1								1	
株式会社ニッスイ	オンライン学習会	1						1					2	3
	リアル学習会	1											1	
日東富士製粉株式会社	オンライン学習会	3	2	2		1		1				1	10	11
	リアル学習会				1								1	
株式会社にんべんフーズ	オンライン学習会	4	2	1									7	8
	リアル学習会	1											1	
パルシステム連合会産直事業本部	オンライン学習会	2	1	1		1							5	8
	リアル学習会	2			1								3	
パルシステム連合会商品管理本部	オンライン学習会	1				1	1						3	3
	リアル学習会												0	
榛名直販株式会社	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会	1											1	
株式会社パルブレッド	オンライン学習会	1		1								1	3	3
	リアル学習会												0	
株式会社パルブレッド (株式会社コモ)	オンライン学習会												0	2
	リアル学習会	2											2	
株式会社パル・ミート	オンライン学習会	2											2	4
	リアル学習会		1		1								2	
ひかり味噌株式会社	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会									1			1	
平田産業有限会社	オンライン学習会	2											2	5
	リアル学習会	2								1			3	
株式会社ふくれん	オンライン学習会	1											1	1
	リアル学習会												0	
富士山の銘水株式会社	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会									1			1	
北海道漁業協同組合連合会	オンライン学習会	1											1	1
	リアル学習会												0	
松山油脂株式会社	オンライン学習会												0	3
	リアル学習会	3											3	
株式会社丸藤	オンライン学習会												0	9
	リアル学習会	8			1								9	
丸紅食料株式会社	オンライン学習会	1											1	1
	リアル学習会												0	

会員名	種別	東京	神奈川	千葉	埼玉	茨城	栃木	山梨	群馬	福島	静岡	新潟	小計	合計
丸和油脂株式会社	オンライン学習会		1										1	1
	リアル学習会												0	
株式会社みそ半	オンライン学習会	1						1					2	3
	リアル学習会										1		1	
三菱商事ライフサイエンス株式会社	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会	1											1	
三菱食品株式会社 (井村屋株式会社)	オンライン学習会	1		1									2	3
	リアル学習会	1											1	
三菱食品株式会社 (信越明星株式会社)	オンライン学習会		1	1		1	1						4	4
	リアル学習会												0	
三菱食品株式会社 (テーブルマーク株式会社)	オンライン学習会							1					1	1
	リアル学習会												0	
三菱食品株式会社 (株式会社ニチレイフーズ)	オンライン学習会					1							1	2
	リアル学習会	1											1	
三菱食品株式会社 (日清オイリオグループ株式会社)	オンライン学習会	2											2	3
	リアル学習会	1											1	
三菱食品株式会社 (日東富士製粉株式会社)	オンライン学習会	1		1									2	2
	リアル学習会												0	
三菱食品株式会社 (榎田屋食品株式会社)	オンライン学習会	1		1									2	2
	リアル学習会												0	
三菱食品株式会社 (マルイ食品株式会社)	オンライン学習会		1										1	1
	リアル学習会												0	
株式会社ヤマキ	オンライン学習会												0	2
	リアル学習会					2							2	
有限会社山田養蜂場	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会	1											1	
山菱水産株式会社	オンライン学習会								1				1	1
	リアル学習会												0	
山屋食品株式会社	オンライン学習会		1			1							2	2
	リアル学習会												0	
株式会社ユニマツトキャラバン	オンライン学習会												0	1
	リアル学習会	1											1	
有限会社ランカスター	オンライン学習会								1				1	1
	リアル学習会												0	
株式会社リアス	オンライン学習会								2				2	3
	リアル学習会	1											1	
小計	オンライン学習会	52	15	29	1	13	8	3	2	3	2		128	224
	リアル学習会	64	2	4	15	1	0	0	2	7	1		96	
総計		116	17	33	16	14	8	3	4	10	3		224	

設定 1990年 10月 26日
改訂 2009年 7月 2日
改訂 2011年 7月 12日
改訂 2013年 7月 2日
改訂 2014年 7月 8日
改訂 2016年 7月 6日
改訂 2019年 7月 20日
改訂 2021年 4月 7日
改訂 2021年 7月 6日

パルシステム協力会 会 則

第1章 総 則

- 第1条 この会は、パルシステム生活協同組合連合会の事業及び運動を支える生産者業者の連帯を深め、連合及び会員の相互発展を図ることを目的とする。
- 第2条 この会は「パルシステム協力会」と称する。
- 第3条 この会は第1条の目的を達成するために、次の事業を行う。
1. 会員とパルシステム生活協同組合連合会との連絡及び調整
 2. 会員の事業に必要な連合の情報資料の提供
 3. 会員の親睦、交流、向上を図る事業
 4. 会員の研修会
 5. その他、前各号に付帯する事業
- 第4条 この会の事務所を、東京都新宿区大久保2-2-6 ラクアス東新宿 パルシステム生活協同組合連合会内におく。

第2章 会 員

- 第5条 1. この会は次の各号に該当する者で目的に賛同する者をもって組織する。
- ①正 会 員 パルシステム生活協同組合連合会及び子会社に口座のある取引業者は正会員となることできる
 - ②準 会 員 正会員の推薦がありパルシステム生活協同組合連合会と間接的に取引があるメーカー及び関連事業者、協力者は準会員となることできる
 - ③特別会員 パルシステム生活協同組合連合会加盟の会員単協、パルシステム生活協同組合連合会の役職員
2. この会の加入、脱退は幹事会が承認するものとする。
3. 以下の者は会員資格を喪失する。
- ①会費の未払
 - ②この会の活動を妨げ又は著しく信用を失わせる行為をした者
 - ③パルシステム生活協同組合連合会と直接又は間接に取引の無くなった者

第3章 役 員

- 第6条 1. この会は次の役員を置く。幹事会社10～20社、監事会社3社。
2. 役員は会長が指名した若干名の役員選挙委員会において推薦し、総会で選任するものとする。
 3. その任期は2年とし、再任は妨げない。

4. 初年度の役員は、任期を1年とする。
5. 監事会社は会計及び活動の遂行を監査する。

- 第7条 1. この会に幹事会を置く。幹事会は幹事会社をもって組織する。
2. 幹事会は会長が召集する。

- 第8条 1. 幹事会において、会長1人、副会長1～2人、会計2人、事務局長1人を互選する。
2. 会長はこの会を代表し、会務を統轄する。
 3. 副会長は、会長を補佐し、会長に不都合の時は、その任務を代行する。
 4. 事務局長は、事務局を統轄する。

- 第9条 1. 幹事会は、総会において議決された事項の実施について具体的な審議を行うほか、緊急事項についてはこれを裁決実施し、次の総会に報告するものとする。

- 第10条 1. この会は相談役をおくことができる。
2. 相談役は会長経験者から選任し、幹事会で承認する。
 3. 任期は2年とし、最大6年までとする。
 4. 相談役は本人が希望すれば幹事会にオブザーバーとして出席することができる。

第4章 総 会

- 第11条 1. 総会はこの会の最高議決機関とし、毎年1回会長が召集する。
2. 前項のほか幹事会が必要と認めた場合、会長は臨時に総会を召集することができる。
- 第12条 1. 総会は正会員の過半数の出席をもって成立し、議決は多数決によりおこなう。ただし、可否同数の場合は議長が裁決する。なお、総会開催前に委任状を提出した者は、総会に出席した者とし、委任状を提出した総会の議決を承認したものとする。
2. あらかじめ通知された事項について書面議決書を提出した者も総会に出席した者とする。
- 第13条 総会の議決を要する事項は、次の通りとする。
- ①会則の改廃
 - ②役員を選任、並びに解任
 - ③事業計画、収支予算の決定、並びに会費の徴収に関する事項
 - ④収支・決算及び事業報告に関する事項
 - ⑤前各号以外の特に重要と認められる事項

第5章 会 計

- 第14条 この会の基金及び経費は次の収入をもって充てる。
- ①会費
 - ②臨時会費
 - ③寄付及び補助金
 - ④その他の収入

- 第15条 別途定める会費基準によるものとする。
- ①期中の加入については、月割計算で会費を徴収する。
 - ②期中の退会については、会費の返却は行わない。

- 第16条 1. この会の事業年度は、5月1日から翌年4月末日とする。
2. 創立初年度は、10月26日より翌年4月末日までとする。

第6章 雑則

- 第17条 1. 会員は幹事会の承認を得て、必要に応じて部会等を組織することができる。
2. この会は「パルシステム協働会ふれあい保障制度」を定め、別途基準により運営するものとする。

第7章 付則

第18条 会員は本会の会則並びに決議を遵守しなければならない。

第19条 会則は1990年10月26日より施行する。

【資料編】

会費基準

- ①年会費は基本会費及びパルシステム生活協同組合連合会との前年度の年間取引高に基づき査定する会費の合計額とします。
- ②年会費の払い込みは、毎年5月に請求し、6月末までに払い込むこととします。但し、期中に加入した会員は加入した翌月から起算し、月割りで年度の残月数を計算した会費を加入した翌月までに払い込むこととします。
- ③準会員、特別会員は、基本会費のみとします。
- ④総会、講演会等の参加費の扱いについては、開催決定の都度幹事会にて検討・決定し、連絡を致します。
- ⑤カタログについては、商談時にお持ち帰りいただけるようにします。但し、送付を希望する会員には、別途送料等実費を徴収します。
- ⑥基本会費は、正会員は取引高により4万円から4段階として取引高比例会費は表1に基づくものとします。
- ⑦準会員・特別会員は基本会費5万円のみとします。

<表1> (単位:円)

年間取引高	取引高 比例会費	基本会費	年会費 合計
500 万以下	0	40,000	40,000
1 千万以下	20,000	40,000	60,000
3 千万以下	30,000	50,000	80,000
5 千万以下	40,000	50,000	90,000
1 億以下	50,000	60,000	110,000
2 億以下	70,000	60,000	130,000
3 億以下	100,000	60,000	160,000
6 億以下	120,000	60,000	180,000
10 億以下	130,000	70,000	200,000
10 億超	150,000	70,000	220,000

但し、2022年度に限り年会費は規定金額の半額とします。

部会運営基準

1. 幹事会は、幹事会のもとに部会を設置します。部会は、会員によって構成されます。
2. 各部長、副部長は、幹事会社から選任し、幹事会で承認します。副部長は部長を補佐し、部長が不都合の時はその任を代行する。
3. 各部会は、部長が召集します。
4. 部長、副部長は、幹事会に出席し活動報告をします。
5. 部会員及び部長、副部長の任期は2年とします。
6. この基準は幹事会が改廃することとします。
7. この基準は、1999年8月26日より施行します。

パルシステム協働会ふれあい保障制度運営基準

(総則)

- 第1条 1. この基準はパルシステム協働会会則の定めにより「パルシステム協働会ふれあい保障制度」の運営に関して定めるものである。
2. この制度はパルシステム協働会会員会社等で就業する従業員の福利・厚生を目的として設置するものである。

(利用会員)

- 第2条 1. パルシステム協働会会員はこの制度に加入して利用することが出来る。
2. 協働会会員の子会社などパルシステムと直接・間接に事業の協同関係にある会社・団体はこの制度に加入して利用することが出来る。但し、会員の推薦するものでなければならない。

(加入者の掛金納付)

- 第3条 この制度に加入し利用を欲するものは、毎年度、この会が定めた銀行口座(ふれあい共済口)に期限までに一年分一括で掛金を納付しなければならない。但し、期中でこの制度に加入し利用するものはその残期間の掛金とする。

(掛け金の保全)

- 第4条 1. 協働会は銀行口座(ふれあい共済口)を設け保全する。
2. 会員から振り込まれたふれあい保障制度掛金(保険料)の内95%は見舞金として株式会社パルふれあいサービスの指定する口座に振り込み、第5条に定める損害保険会社を引き受け会社として保全する。
3. 会員から振り込まれたふれあい保障制度掛金(保険料)の内5%は結婚祝金として第1項に定める銀行口座(ふれあい共済口)で保全する。

(制度の保全)

- 第5条 1. この制度の保全のために損害保険会社を引き受け会社とする保険契約を締結する。
2. 事務局は株式会社パルふれあいサービスとする。

(給付他諸手続き)

- 第6条 給付を必要とした時は損害保険会社及び株式会社パルふれあいサービスとの間で定めた細則に基づいて行なう。その他、諸手続きも同様とする。

(改廃)

- 第7条 1. この基準の改廃はパルシステム協働会幹事会が行う。

(附則)

- (1) 制定・施行 2008年7月8日
- (2) 改定 2010年1月13日

幹事会／事務局会旅費支給規定

- 第1条 総則
協力会の幹事会／事務局会または会として認められるその他会合への出席のための旅費の支給は本規定の定めによる。
- 第2条 支給額算出根拠
JR普通乗車券および必要と認められる場合の特急、急行券実費とする。運賃改定の場合はそれに基づき支給額を改定する。宿泊費は必要と認められた場合、1日1万円を支給する。
- 第3条 支給方法
会合開催日に現金を以て支給する。
- 第4条 規定の変更
この規定の改廃は幹事会の議決によりこれを行う。
- 第5条 付則
この規定は1991年3月1日から実施する。

慶弔規定

- 第1条 協力会の関連団体の慶弔に関する事項は、この慶弔規定による。金額などについて裁定が必要ある時は会長が決定する。
- 第2条 対象別金額は別表の通りとする。
- 第3条 その他協力会関連の慶弔については、原則として協力会が会員を代表して行うものとする。
- 第4条 規定の変更
この規定の改廃は幹事会の議決によりこれを行う。
- 第5条 付則
この規定は1991年3月1日から実施する。

〈別表〉

- (1) 創立記念日：創立5周年等、節目の記念日につき祝金を贈る。限度額3万円
- (2) 新築・落成：事務所、設備等の新築、落成につき祝金を贈る。限度額3万円
- (3) 死 亡：〈香典〉限度額を3万円とし、パルシステム生活協同組合連合会役職員、会員生協の役員及び協力会員の1親等までを対象とする。献花はその都度会長裁定による。
〈弔電〉パルシステム生活協同組合連合会役職員、会員生協の役員及び協力会員の2親等までを対象とする。
- (4) 災 害：天災、地変、その他不測の事故等により事務所・設備に損害等を受けた時は見舞い金を贈る。限度額3万円

上記の他、必要と認められる場合は、会長の裁定でその都度対応し、限度額3万円を贈ることができる。これについては後日幹事会の承認を得る。

パルシステム協力会公式サイト

<https://pal-kyoryokukai.jp/>



2021年4月より「パルシステム協力会公式サイト」がスタートしました。ハートをあしらった「パルシステム協力会のロゴマーク」も登場。みなさまの連携と連帯をはかり、「パートナーシップ」のお役に立てるようなサイトをめざしています。



お役立ち情報が満載。

パルシステム組合員の暮らしを商品の力でよりよくしたい。そんな思いで、メーカーやベンダーなどの垣根を越えてつながっている「パルシステム協力会」。

公式サイトには、その活動や、最新情報が掲載されていますのでご活用ください。



パルシステム協力会

〒169-8527

東京都新宿区大久保2-2-6 3F

TEL(03)6233-7201